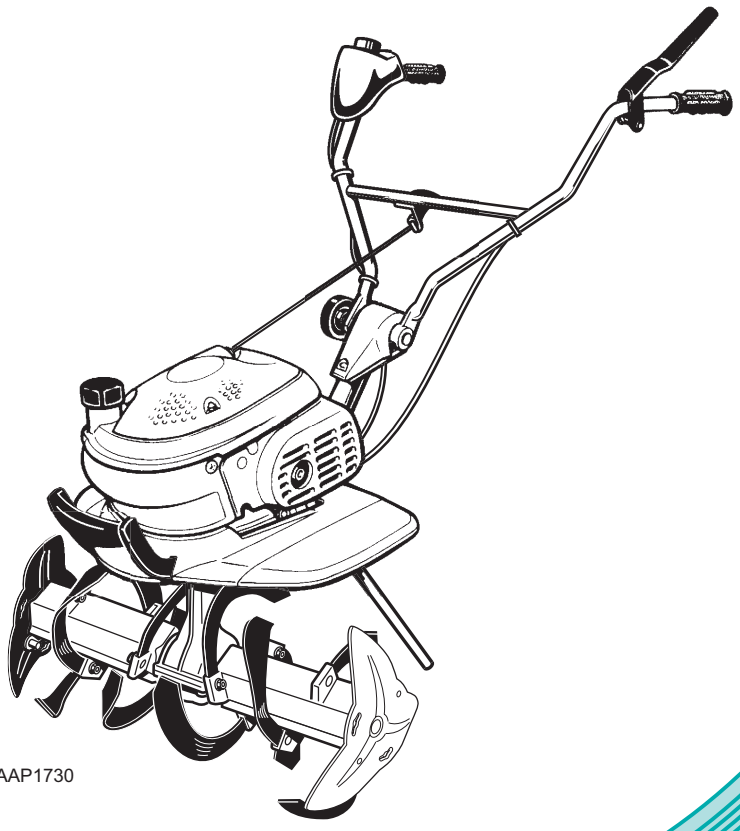
# クボタ管理機

# 取扱説明書

# TMA 350



1AFAAAAAP1730

ご使用前に必ずお読みください
いつまでも大切に保管してください

## 操作装置のシンボルマーク

運転操作及び保守管理のために，操作装置のシンボルマークが使用されています。シンボルマークの意味は下記のとおりですのでよく理解して戴き誤操作のないようご注意ください。

| | | | |
|---|---|---|---|
| | エンジン停止 | | チョークレバー |
| | | | ガソリン燃料 |

## 専門用語の説明

| | | | |
|---|---|---|---|
| **ON** | 燃料コック［開］ | **OFF** | 燃料コック［閉］ |

## 本製品の使用目的について

本製品は，農業用機械ですので農作業以外では使用しないでください。
使用目的以外の作業，また夜間作業や改造はしないでください。
使用目的以外の作業や改造をした場合は，保証の対象になりませんのでご注意ください。（詳細は保証書をご覧ください。）

## 仕様について

この取扱説明書では，仕様の異なる製品を下記のように表示していますので，お買上げの製品の仕様をお確かめのうえ，お間違いのないようお願いいたします。
なお，機種及び仕様区分によっては付いていない装置の説明もあります。

- 旋回レバー付……S仕様
- 一体型楽ラク耕うんロータ付…M3仕様
- 分割型楽ラク耕うんロータ付…M4仕様
- ミラクルロータ付……N仕様
- 抵抗棒付……T仕様
- 簡単うね立てマット付……U仕様
- 回転ヒッチ付……E2仕様

# はじめに

このたびはクボタ製品をお買上げいただきありがとうございました。
この取扱説明書は本製品の正しい取扱い方法，簡単な点検及び手入れについて説明しています。ご使用前によくお読みいただいて十分理解され，お買上げの製品がすぐれた性能を発揮し，かつ安全で快適な作業をするためこの冊子をご活用ください。また，お読みになったあとも製品に近接して保存し，わからないことがあったときには取出してお読みください。なお，品質・性能向上あるいは安全上，使用部品の変更を行なうことがあります。その際には，お買上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので，あらかじめご了承ください。

# ⚠安　全　第　一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた⚠の表示があるラベルは，人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。
なお，⚠表示ラベルが汚損したり，はがれた場合はお買上げの販売店に注文し，必ず所定の位置に貼ってください。

**注意表示について**

本取扱説明書では，特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について，次のように表示しています。

| | |
|---|---|
| ⚠ 危　険 | 注意事項を守らないと，死亡又は重傷を負うことになるものを示します。 |
| ⚠ 警　告 | 注意事項を守らないと，死亡又は重傷を負う危険性があるものを示します。 |
| ⚠ 注　意 | 注意事項を守らないと，ケガを負うおそれのあるものを示します。 |
| 重　要 | 注意事項を守らないと，機械の損傷や故障のおそれのあるものを示します。 |
| 補　足 | その他，使用上役立つ補足説明を示します。 |

# 目　次


## ⚠安全に作業するために

**運転する前に** ..... 1
**始動するとき** ..... 2
**移動，作業するとき** ..... 3
**作業が終わったとき** ..... 7
**点検，整備をするとき** ..... 7
**表示ラベルと貼付位置** ..... 10
**表示ラベルの手入れ** ..... 10

## サービスと保証について

## 各部の名称と装置の取扱い

## 作業前の点検

**調子良く作業するために** ..... 4
　燃料 ..... 4
　エンジンオイル ..... 4
　ミッションオイル ..... 4
　エアクリーナ ..... 5
　各ケーブル ..... 5
　その他 ..... 5
**安全に作業するために** ..... 5
　主クラッチ ..... 5
　旋回レバー［S 仕様］..... 5
　電気配線 ..... 5
　エンジン周辺部 ..... 5
　ガソリン漏れ ..... 5

## 運転のしかた

**新車時の扱いかた** ..... 6
　ならし運転（最初の 10 時間まで）..... 6
**エンジンの始動と停止のしかた** ..... 6
　始動のしかた ..... 6
　停止のしかた ..... 7
**発進のしかた** ..... 8
**各部の調節** ..... 8
　ハンドル高さの調節 ..... 8
　ハンドルの左右回動 ..... 8
　抵抗棒の調節［T 仕様］..... 9
　簡単うね立てマットの取付けかた
　　［U 仕様］..... 9
**緩衝装置が働いた場合** ..... 9
**移動輪での運転のしかた** ..... 10
**旋回レバー［S 仕様］** ..... 10
　旋回のしかた ..... 10
**回転ヒッチの使いかた［E2 仕様］** ..... 10
　装着のしかた ..... 10
　切替のしかた ..... 10
**ロータ・移動輪の取付けかた** ..... 11
　楽ラク耕うんロータの取付けかた
　　［M3，M4 仕様］..... 11
　マジカルプレートの装着方法 ..... 12
　ミラクルロータの取付けかた［N 仕様］... 12
　耕うん爪の取付けかた ..... 13
　移動輪の取付けかた［Y3 仕様］..... 14

## 管理機の簡単な手入れと処置

**廃棄物の処理について** ..... 15
**日常の手入れ** ..... 15
　エンジンオイルの交換 ..... 15
　ミッションオイルの給油 ..... 15
　エアクリーナエレメントの清掃 ..... 16
　燃料パイプの交換 ..... 16
　点火プラグの調整・清掃・交換 ..... 17
　主クラッチケーブルの調節 ..... 17
　旋回レバーケーブルの調節［S 仕様］..... 17
**使用後の手入れ** ..... 18
　エンジン始動不良を防ぐために ..... 18
　長期格納時の手入れ ..... 18
　燃料の抜取り ..... 18
**洗車時の注意** ..... 19

## 管理機を運搬するとき

**トラックへの積込み，運搬** ..... 20
**乗用車への積込み，運搬** ..... 21
**ハンドルの折り畳みかた** ..... 21

## 付表

**主要諸元** ..... 22
**標準付属部品** ..... 22
**主な消耗部品一覧表** ..... 23

## トラブルと処置

# ⚠ 安全に作業するために　必ず読んでください

本機をご使用になる前に，必ずこの『取扱説明書』をよく読み理解した上で，安全な作業をしてください。安全に作業していただくため，ぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですが，これ以外にも，本文の中で⚠危険・⚠警告・⚠注意・重要・補足としてそのつど取上げています。

## 運転する前に

### ■ 運転前に

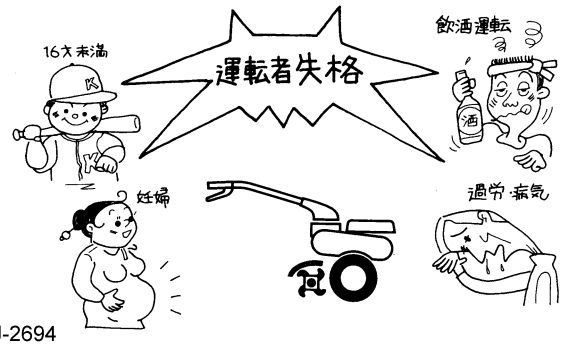
- 機械を動かす前に，取扱説明書と機械に貼ってある⚠表示ラベルをよく読み，理解した上で運転してください。
- 機械の運転操作,特に主クラッチ**[切]**はすばやくできるよう，よく練習し，じゅうぶんに慣れてから作業してください。

1AGAAAPAP062A

### ■ 使用する人は

機械の運転操作，特に主クラッチ**[ 切 ]**はすばやくできるよう，よく練習し，十分に慣れてから作業してください。
次の項目に該当する場合は，機械を使用しないでください。

- 本書及びラベルの内容が理解できない人
- 視力不足等のため表示内容が読めない人
- 飲酒時や体調が悪いとき，また妊娠中の人
- 16 才未満の人
- ハンドルを操縦する体力に自信のない方

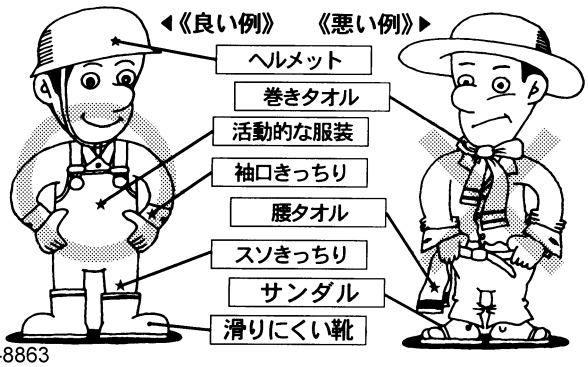


J-2694

### ■ 使用する人の服装は

- 回転部分や操縦装置にひっかかり事故の原因になる，だぶついた服，腰タオルなどはやめてください。
- ヘルメット，安全靴，保護メガネや手袋などを必要により着用してください。

作業時の服装



F-8863

### ■ 周囲への注意

- 子供，ペットを近づけないでください。
- 見物人を近くに寄せないでください。
- 共同作業者がいるときは，互いに注意してください。

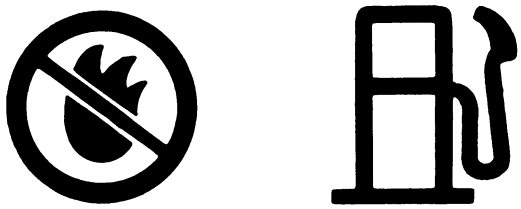
### ■ 他人に貸すときは

- 事前に運転のしかたを教え,**[取扱説明書]**を必ず読んでもらってください。
- 本書及びラベルの内容が理解できない人や子供には絶対運転させないでください。

F-8822

### ■ 給油・注油するとき［火気厳禁］

- 燃料の給油・各部への注油時は必ずエンジンを停止し，規定量以上入れないでください。
- エンジン回転中やエンジンが熱い間は火災のおそれがあるので給油はしないでください。
- 煙草を吸ったり火気を近づけないでください。
- 燃料補給後，給油キャップはもれないようしっかり締めてください。
- こぼれた燃料はふき取ってください。

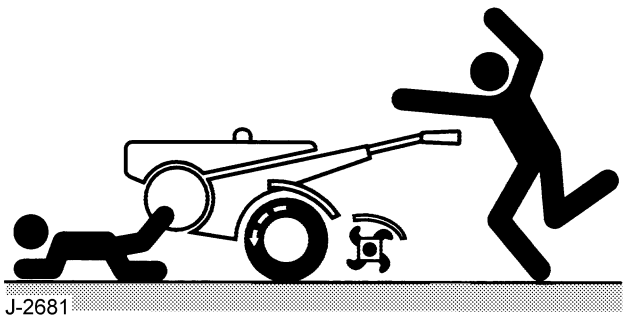


J-2705

## 始動するとき

### ■ エンジンを回すとき

- 必ず本機の主クラッチレバーを**[切]**にして，付近に人（特に子供）を近づけないでください。
- もし主クラッチが入っていると車体や爪軸が急に動いて事故になるおそれがあります。
- リコイルスタータを引張る方向に人がいないか，突起物・障害物がないか確かめてから始動してください。傷害事故のおそれがあります。



J-2681

### ■ 排気ガスに注意

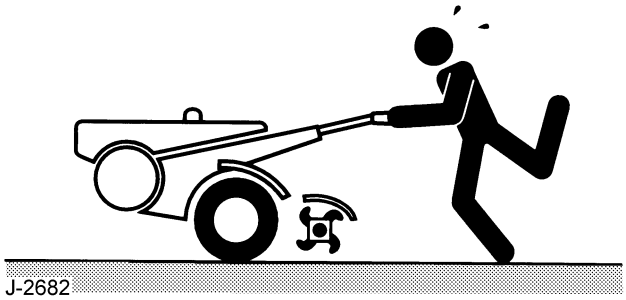
- 排気ガスによる一酸化炭素中毒のおそれがあるので，換気の悪い所（ハウス，車庫等）では使用しないでください。
- ハウス内では排気ガスが充満しないように，じゅうぶんに換気を行なってください。
  排気ガスによる中毒を起こし，死亡事故にいたるおそれがあります。

F-8842

## 移動，作業するとき

### ■ 発進するとき

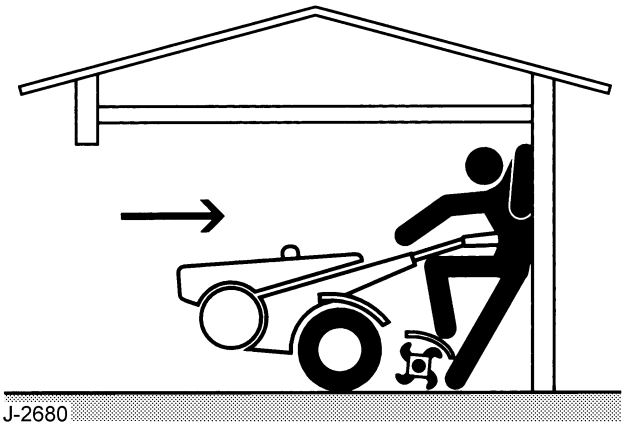
- 速い速度での走行は充分注意してください。
- 車速の最低速で主クラッチレバーの［入］はゆっくり，［切］はすばやくの操作を習熟した上で使用してください。
- 小走りになるようなスピードを出したり，急発進，急旋回はしないでください。転倒などのおそれがあります。



J-2682

### ■ ハウス，車庫等での移動

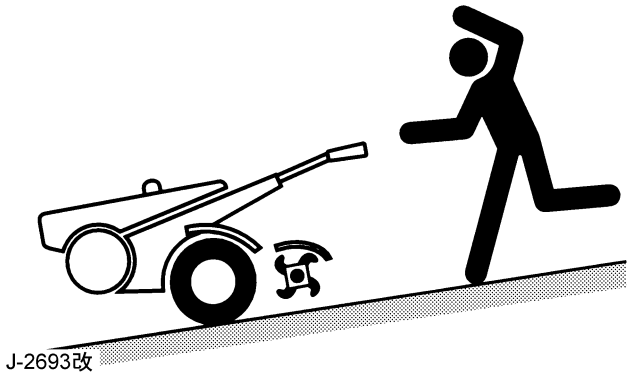
- 後方の壁，支柱，天井など障害物にはさまれるおそれがあるので遅い車速で後進してください。
- 屋根の低いハウス内や車の荷台では，エンジンを停止して手で引き出してください。



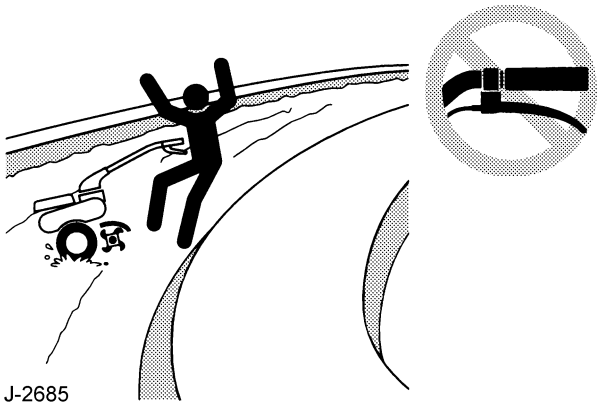
J-2680

### ■ 坂道を移動するとき

- 坂道，ほ場の出入り，あぜの乗越え等の途中で主クラッチを **[ 切 ]** ったりすると，機体が思わぬ方向に進み危険です。
- 坂道や凹凸，カーブの多い路上で高速運転すると，転倒したりして危険ですから必ず低速運転してください。

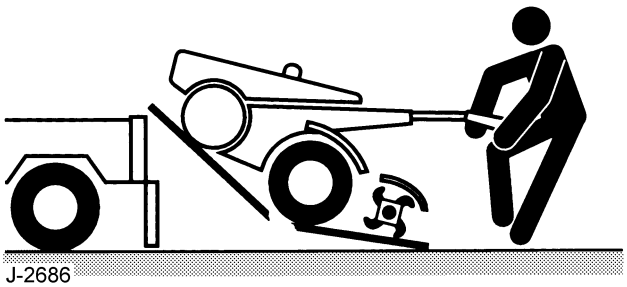

J-2693改

- 坂道で旋回レバー **[S 仕様 ]** を操作すると，思わぬ方向に曲がり転倒のおそれがありますので，必ずハンドル操作で方向転換してください。

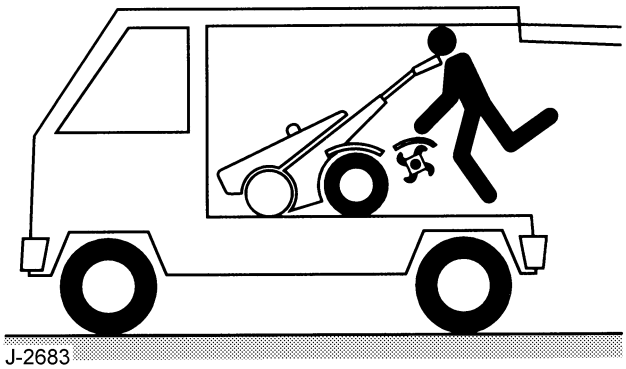

J-2685

### ■ 積込み・積降ろしするとき

- 積込み・積降ろしは，平坦で交通の邪魔にならない安全な場所で行なってください。
- アユミ板はすべり止めのついた，機体重量に耐えるもので，トラックの荷台の高さ **[ 1 ]** に対しアユミ板の長さ **[ 4 以上 ]** のものを使用し，確実に固定してください。
- ロータを装着しているときは，移動輪，または突起の小さい車輪と交換して行なってください。ロータのみでの，アユミ板の上り・下りは危険です。絶対にしないでください。
- 上り，下りはエンジンを停止して，主クラッチレバー及び旋回レバー **[S 仕様 ]** から手を離して行なってください。


J-2686

- 車などで運搬するときは，荷台に天井がある車を使用すると天井に首や体をはさまれるおそれがありますので，必ず荷台に天井がない車を使用してください。


J-2683

### ■ 運搬するとき

- 運搬中は燃料コックレバーを必ず**[閉]**にし，給油キャップはもれないようしっかり締めてください。燃料もれが発生し，火災や爆発のおそれがあります。
- 機体の固定は前部プロテクタ，抵抗棒の２箇所を使ってロープ掛けを行ない，確実に床に固定してください。

### ■ 耕うん作業するとき

- いつでも主クラッチが**[切]**れる姿勢で運転してください。車軸（ロータ）作業開始時や作業中，機体が思わぬ方向に飛出し転倒や人身事故のおそれがあります。
- 作業前に，ほ場の状態をよく確認して，石・材木・針金・空カン・空ビンなどを取除いてください。
- 作業前，作業後には機械の整備・点検を行なってください。特にエンジン本体，マフラ周辺，配線部にワラくずなどがたまっていると，火災の原因になります。
- 周辺の枯れ草やたい積ワラなどは作業前に取除くか移動させてください。機械のマフラが接触すると，発火するおそれがあります。
- ほ場の中や周囲にある支柱，樹木や段差などは，作業前に位置を確認し，後進時にはさまれたり，転倒・転落しないよう安全な距離を保って，近づかないよう作業してください。
- ハウスや小屋の中，果樹園など障害物がある場所では，周囲をよく確認しながら作業してください。特に旋回するときは，エンジン回転を下げ，ハンドルをしっかり押えて行なってください。
- 長いワラ・草など作業に支障のあるものは，作業前に取除いてください。機体が思わぬ方向に飛出し，転倒などのおそれがあります。

1AFACAAAP029A

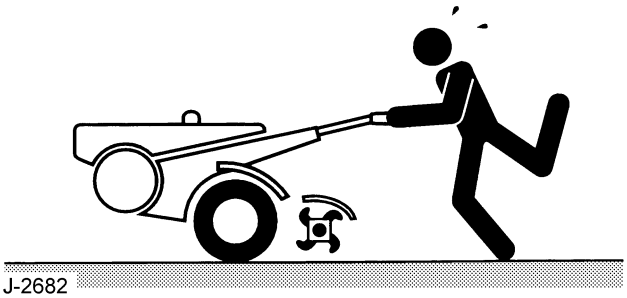
### ■ 回転している爪に注意

- ハンドル部を持上げ旋回するとき，足元及び周囲に十分注意しないと回転する爪に巻込まれるおそれがあります。

J-2708

### ■ ほ場が硬いとき

- 硬いほ場では車速を遅めにして，耕深も浅めで作業を行なってください。機体が飛出すおそれがあります。



J-2682

### ■ 機械から離れるとき

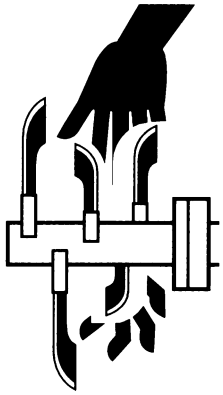
- エンジンは必ず停止させ，平坦で安定した場所に停車してください。移動・落下するおそれがあります。(やむなく傾斜地に止めるときは車止めをしてください)
- 周囲に草・ワラなど燃えやすいものがある場所に止めないでください。火災のおそれがあります。

1AFACAAAP031A

## 作業が終わったとき

### ■ 掃除をするとき

- 車軸（ロータ）等に巻付いた草，ワラ，泥土等を取除くときは，巻込まれるおそれがあるので，必ずエンジンを停止してください。



J-2688

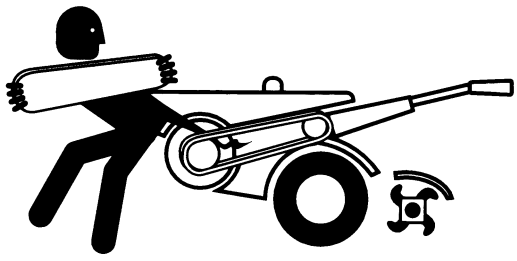
## 点検，整備をするとき

- 点検，整備，アタッチメントの脱着などは，機械が転倒しない平坦な所に機械を安定させてエンジンを止め，高温部が冷めてから行なってください。

B-1502

### ■ カバー類は必ずつける

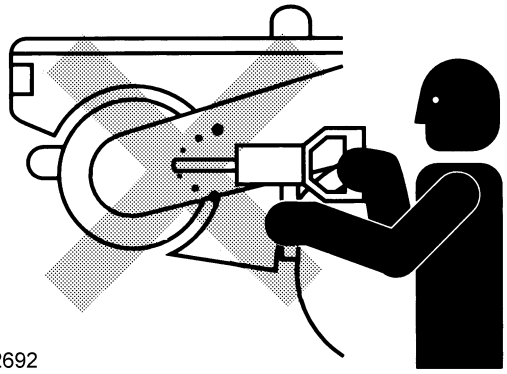
- フェンダー等の防護カバーを取外すときは，巻込まれるおそれがあるので，必ずエンジンを停止してください。
- 取外したカバー類は元通り組付けてください。



J-2689

### ■ 機械の改造禁止

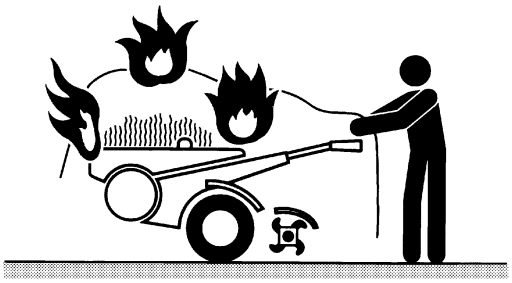
- 機械を改造しないでください。改造すると機能に影響を及ぼすばかりか人身事故にもつながるおそれがあります。



J-2692

### ■ 格納するとき

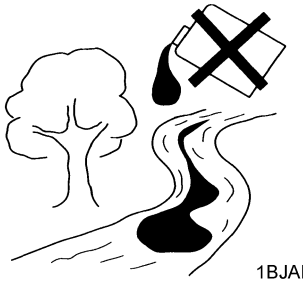
- 機体に保管用カバーをかけるときは，火災予防のため高温部が冷めてから行なってください。
- 乾いた草・ワラなど可燃物のあるところでの保管はしないでください。
  火災のおそれがあります。



1AFACAAAP076A

### ■ 廃棄物の処理について

- 廃棄物をみだりに捨てたり，焼却すると，環境汚染につながり，法令により処罰されることがあります。
- 機械から廃液を抜く場合は，容器に受けてください。
- 地面へのたれ流しや河川，湖沼，海洋への投棄はしないでください。
- 廃油，ゴム類，その他の有害物を廃棄，又は焼却するときは，購入先，又は産業廃棄物処理業者等に相談して，所定の規則に従って処理してください。



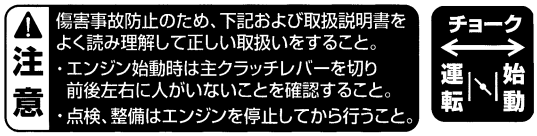
1BJABAAAP0180

### ■ 夜間作業の禁止について

- 本機は夜間作業灯を装備していませんので，夜間作業はしないでください。思わぬ事故になるおそれがあります。

## 表示ラベルと貼付位置

① 品番　KA011-4716-0




1AFAAAAAP2100

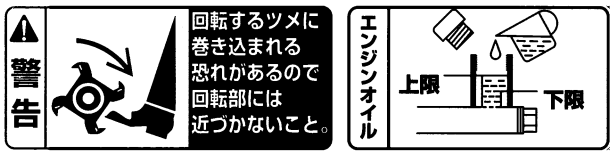
② 品番　KA011-4717-0

1AFAAAAAP2110

③ 品番　KA011-4721-0

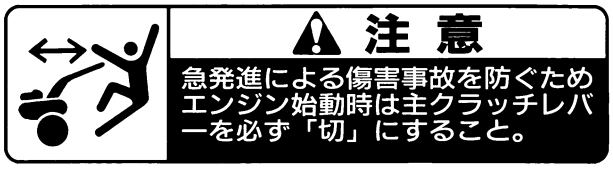
1AFAAAAAP2120

④ 品番　KA011-4713-0

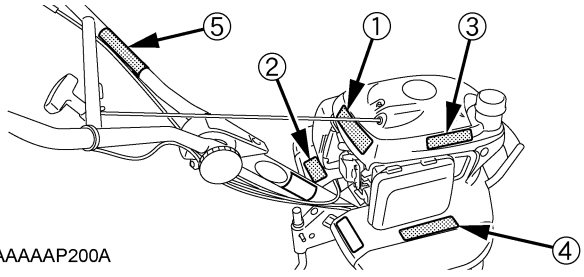



1AFAAAAAP2130

⑤ 品番　E3133-4823-0




1AFAAAAAP2140




1AFAAAAAP200A

## 表示ラベルの手入れ

- ラベルは，いつもきれいにして傷つけないようにしてください。
  もしラベルが汚れている場合は，石鹸水で洗い，やわらかい布で拭いてください。
- 高圧洗浄機で洗車すると，高圧水によりラベルが剥がれるおそれがあります。高圧水を直接ラベルにかけないでください。
- 破損や紛失したラベルは，製品購入先に注文し，新しいラベルに貼替えてください。
- 新しいラベルを貼る場合は，貼付け面の汚れを完全に拭取り，乾いた後，元の位置に貼ってください。
- ラベルが貼付けされている部品を新部品と交換するときは，ラベルも同時に交換してください。

# サービスと保証について

この製品には，保証書が添付してありますので，ご使用前によくご覧ください。

### ■ ご相談窓口

ご使用中の故障やご不審な点及びサービスについてのご用命は，お買上げいただいた購入先にそれぞれ**［ご相談窓口］**を設けておりますのでお気軽にご相談ください。
その際　(1) 型式名・販売型式名と車台番号
　　(2) エンジン番号
をあわせてご連絡ください。
なお，部品ご注文の際は，購入先に純正部品表を準備しておりますので，そちらでご相談ください。

**警　告**

**＊ 機械を改造しないでください。改造すると機能に影響を及ぼすばかりか，人身事故にもつながるおそれがあります。**
**改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は，メーカ保証の対象外になるのでご注意ください。**

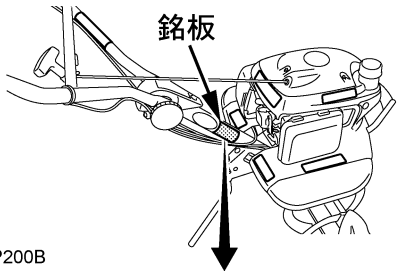
### ◆ 認定番号

安全鑑定の農機型式名及び番号が必要な場合は，下記の型式名及び番号をご使用ください。

| 販売型式名 | 農機型式名 | 安全鑑定番号 |
|---|---|---|
| TMA350<br>TMA350-S | TMA300 | 26163 |

### ■ 補修用部品の供給年限について

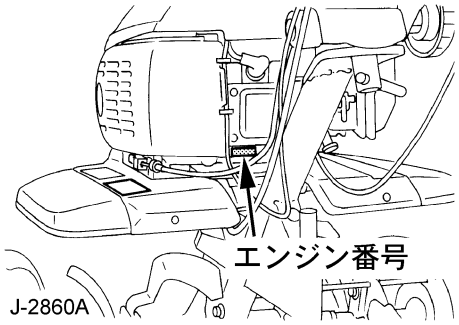
この製品の補修用部品の供給年限（期限）は製造打ち切り後９年といたします。
ただし，供給年限内であっても特殊部品につきましては，納期等についてご相談させていただく場合もあります。
補修用部品の供給は原則的に上記の供給年限で終了致しますが，供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合には，納期及び価格についてご相談させていただきます。



1AFAAAAAP200B

| | |
|---|---|
| 農業機械の種類 | 農用トラクター(歩行型) |
| 型　式　名 | クボタ TMA300 |
| 販売型式名 | TMA350 |
| 区　分 | |
| 車両型式名 | |
| 車台(製造)番号 | |
| 製造会社 | 株式会社クボタ |

1AFAAAAAP220A



J-2860A

**注　意**

**＊ トレーラ走行はできません。**
**小型特殊自動車の認定を受けておりません。**
**一般公道を走行すると，道路運送車両法に違反します。**
**一般公道を移動するときは，自動車（トラック）に積んで運搬してください。**

# 各部の名称と装置の取扱い

## 主クラッチレバー

**注　意**

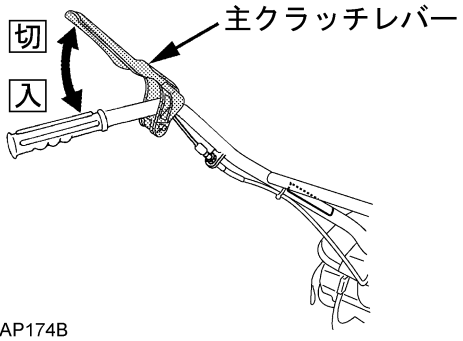
**＊傾斜地／狭い場所で作業する場合，主クラッチレバーはゆっくり操作してください。**
**＊危険を感じたら，すぐに手を離してください。機械が停止します。**

**重　要**

＊エンジン停止時，主クラッチレバーを握っても，握れないことがあります。本機を前後に移動させながらレバーを握ってください。

エンジンから車軸への動力を断続します。

1. レバーを握るとクラッチが**[入]**り車軸が回転します。
2. レバーを離すとクラッチが**[切]**れ回転が止まります。




1AFAAAAAP174B

## 旋回レバー(左・右)[S仕様]

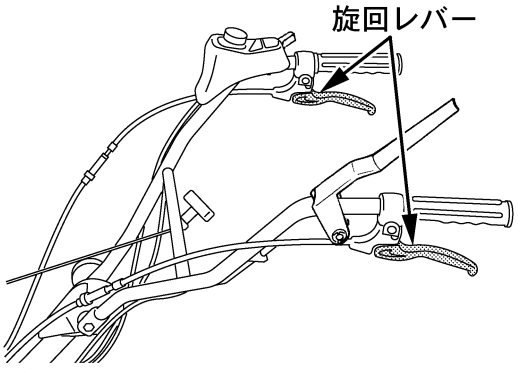
**注　意**

**＊車両への積降ろし時や坂道では，絶対に操作しないでください。**

**重　要**

＊左右同時に握ることはできません。

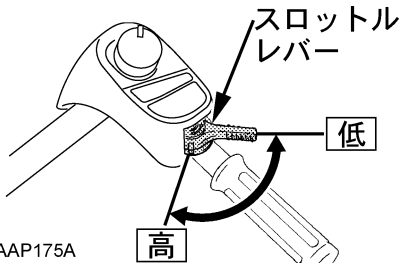
● 右側のレバーを握る…右側に旋回します。
● 左側のレバーを握る…左側に旋回します。



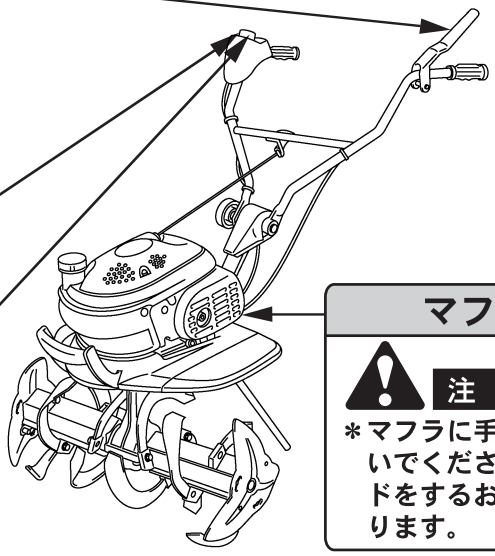

1AFAAAAAP176A

## スロットルレバー

レバーを**[高]**の方向に回すと，エンジン回転が上がり，**[低]**の方向に回すと，エンジン回転が下がります。




1AFAAAAP175A



1AFAAAAAP177A

## マフラ

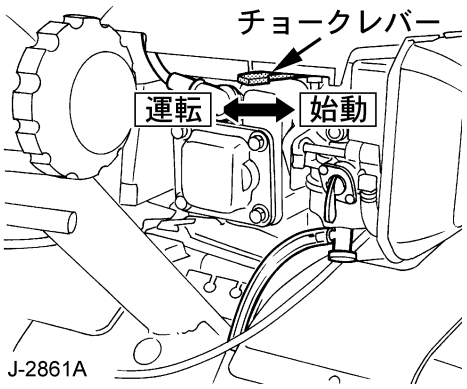
**注　意**

**＊マフラに手を触れないでください。ヤケドをするおそれがあります。**

## チョークレバー

エンジンがかかりにくい時に使用します。

1. 始動時，**[始動]**位置にレバーを切り換えます。
2. 始動後，**[運転]**位置にレバーを切り換えます。




J-2861A

## エンジンスイッチ

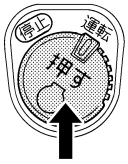
エンジンの運転・停止に用います。

運転時

1AFAAAAAP184A[押す]

スイッチを押しながら(運転)位置に回すと始動が可能です。

停止時



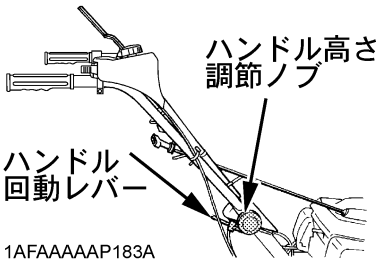

[押す]

スイッチを押すと左に回り(停止)位置に戻り，エンジンが停止します。

補足＊非常時にはエンジンスイッチを押してください。エンジンが停止します。

## ハンドル高さ調節ノブ
## ハンドル回動レバー

「ハンドル高さの調節」・「ハンドルの左右回動」8 ページを参照




## リコイルスタータ

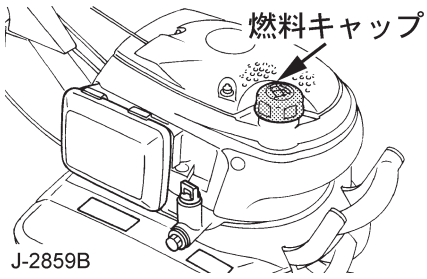
**注　意**

**＊リコイルスタータを引っ張る方向に人がいないか，突起物障害物がないか確かめてから始動してください。傷害事故のおそれがあります。**

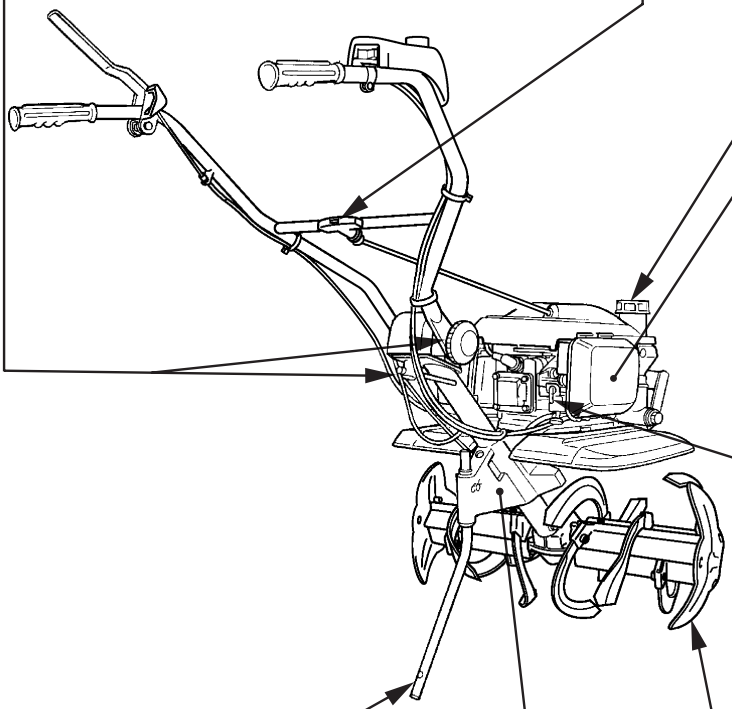
エンジン始動時に使用します。主クラッチレバーを **[切]** にし，エンジンスイッチを **[運転]** にしてリコイルを引張ると始動します。

## 燃料キャップ

自動車用レギュラーガソリンを使用します。（規定容量 0.7L）




## エアクリーナ



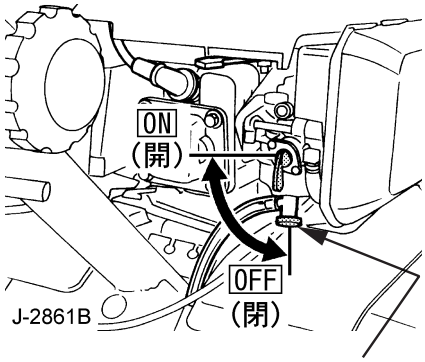
## 燃料コック

**重　要**

＊コックを開いた状態で，前に倒したり車両で運搬すると，エンジン始動が困難になる場合があります。

燃料タンクからエンジンへの燃料の **[供給]・[停止]** を切りかえます。
エンジン停止後，必ず燃料コックを閉めます。

1. **[OFF]（閉）** 燃料停止
2. **[ON]（開）** 燃料供給




## クイックドレン

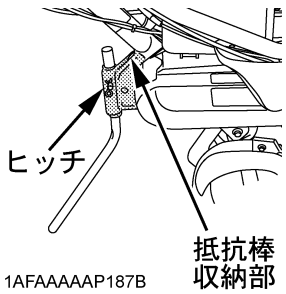
**「燃料の抜き取り」**18ページを参照

## 抵抗棒 [T仕様]

**「抵抗棒の調節」** 9 ページを参照

## ヒッチ

抵抗棒・その他作業機を取付けるところです。




## 楽ラク耕うんロータ [M3, M4仕様]

**「ロータ・移動輪の取付けかた」** 11ページを参照

# 作業前の点検

**注　意**

**＊ 平坦な場所に機械を安定させて点検してください。**
**＊ 点検中はエンジンを停止してください。**

## 調子良く作業するために

〔詳細は **[ 管理機の簡単な手入れと処置 ]** 15 ページを参照〕

**警　告**

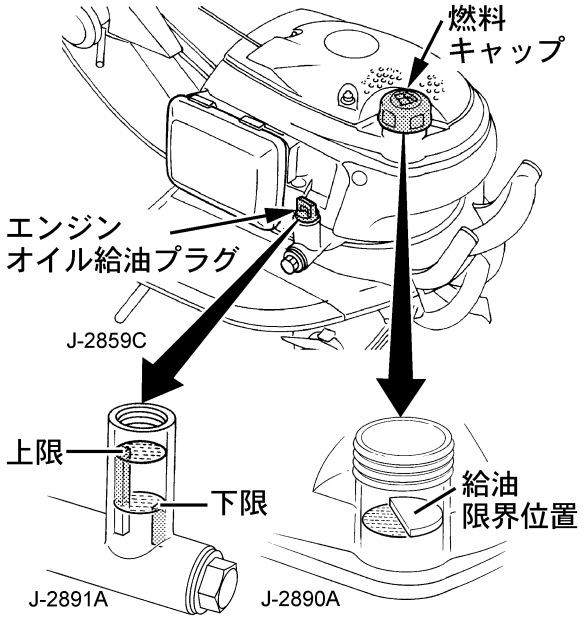
**＊ 給油するときはエンジンを停止し，エンジンやマフラがじゅうぶん冷えてから行なってください。**
**＊ 火気厳禁。くわえ煙草での給油は絶対にしないでください。**
**＊ 燃料がこぼれたときはきれいにふき取ってください。**
**＊ 燃料は規定量以上入れないでください。**
**＊ 給油後，燃料キャップはガソリンがもれないようしっかり締めてください。**
**＊ 上記の作業をおこたると，爆発・火災のおそれがあります。**

### ■ 燃料

自動車用レギュラーガソリンを補給します。
燃料キャップを外し，給油口の給油限界位置を超えないように補給してください。
タンク容量……約 0.7L

**重　要**

＊ 水やゴミを混入しないようにしてください。

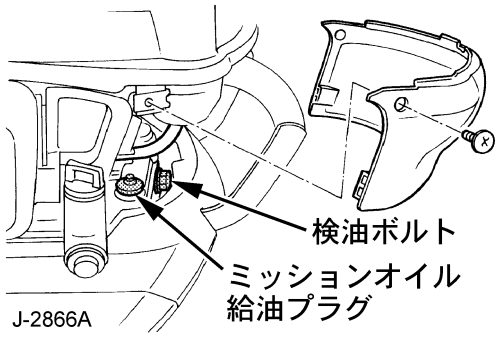


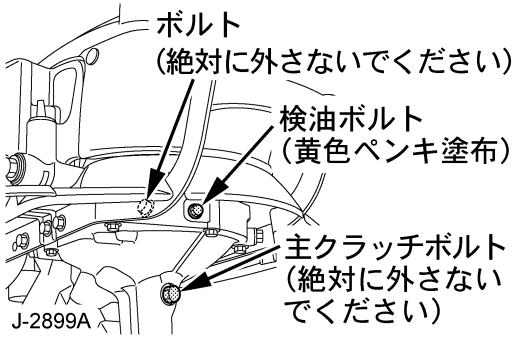

### ■ エンジンオイル

エンジンを水平にして給油プラグを外し，オイル給油口内側のレベルゲージで上限まであるか点検します。
油面が下限に近い場合は，クボタ純オイルを補充します。
（ガソリンエンジン用）スーパー G 10W-30

### ■ ミッションオイル

エンジンを水平にして，検油ボルトを外し，検油口までオイルがあるか点検します。
不足している場合は，クボタ純オイルを補充します。
（ガソリンエンジン用）スーパー G 10W-30



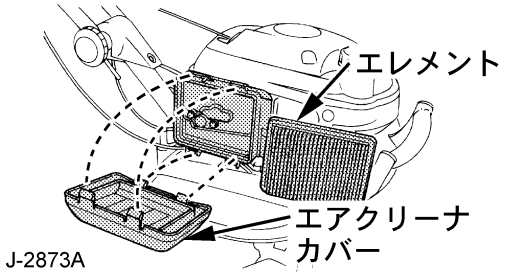



**重　要**

＊ 主クラッチボルトは検油ボルトではありません。主クラッチ不良につながる恐れがありますので絶対に外さないでください。

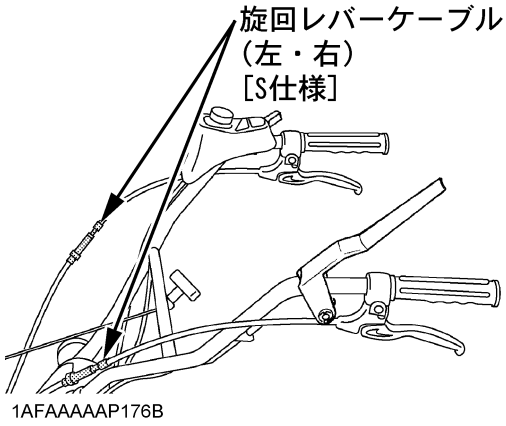
### ■ エアクリーナ

- エアクリーナエレメントにゴミが付着していないか点検します。
- 汚れている場合は清掃してください。




### ■ 各ケーブル

- ケーブル注油部より，エンジンオイルを注油してください。



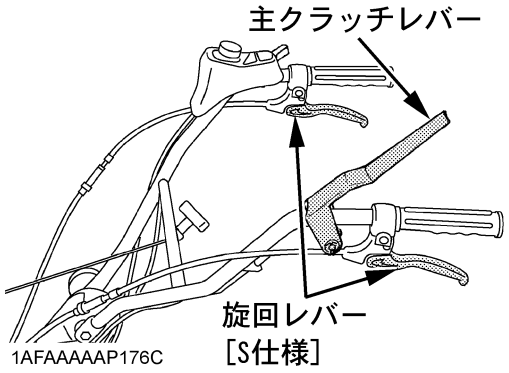

### ■ その他

- エンジン，ミッションなどから油もれがないか点検してください。
- 各しゅう動部へエンジンオイルを注油してください。
- 各部の損傷及びボルト・ナットのゆるみがないか点検してください。

## 安全に作業するために

### ■ 主クラッチ

- クラッチの **[入]・[切]** が確実に行なえるか点検してください。
- 不良の場合は調整・注油してください。




**重　要**

＊ エンジン停止時，主クラッチレバーを握っても，握れないことがあります。本機を前後に移動させながらレバーを握ってください。

### ■ 旋回レバー［S 仕様 ］

- クラッチの **[入]・[切]** が確実に行なえるか点検してください。
- 不良の場合は調整・注油してください。

### ■ 電気配線

- 被覆が溶けたり破れていないか，また配線がはさまれていないか点検してください。

### ■ エンジン周辺部

- ファンカバーやマフラカバー内にゴミやワラクズの付着がないか点検してください。

### ■ ガソリン漏れ

- タンクや燃料パイプからガソリン漏れがないか点検してください。もれがある場合は，修理点検してください。
- 自動車用レギュラーガソリンを補給してください。規定量（約 0.7L）以上入れないようにしてください。
- 給油後，ガソリンがもれないよう確実に燃料キャップを締めてください。

# 運転のしかた

## 新車時の扱いかた

### ■ ならし運転（最初の 10 時間まで）

この期間中は各部になじみをつけるため，エンジンを高速回転させたり，過酷な使用はさけ無理をさせないようにしてください。

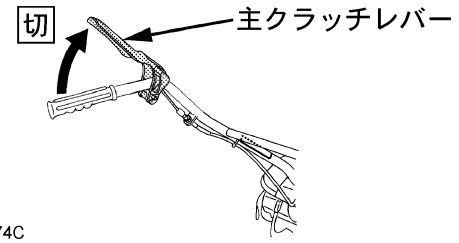
## エンジンの始動と停止のしかた

### ■ 始動のしかた

**注　意**

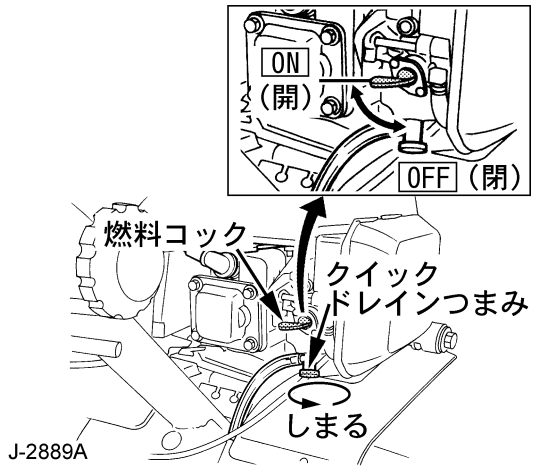
**＊ マフラの排気出口方向に，燃えやすい物を置かないでください。火災が発生する原因となります。**
**＊ リコイルスタータを引張る方向に人がいないか，突起物・障害物がないか確かめてから始動してください。傷害事故のおそれがあります。**
**＊ エンジンの運転中は，危険ですから操作レバー以外の物（マフラなど）には，触れないでください。ヤケドや傷害のおそれがあります。**
**＊ 夜間作業はしないでください。**
**＊ エンジンを始動するときは，主クラッチレバーを必ず［切］にしてください。**

1. 主クラッチレバーから手を離し，主クラッチが切れていることを確認します。



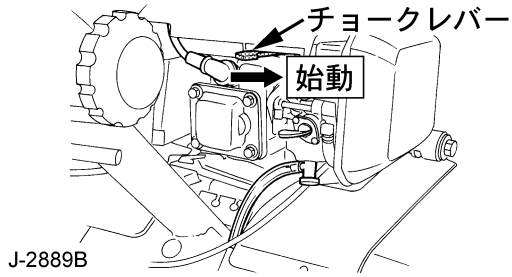
1AFAAAAAP174C

2. 燃料コックを**［ON］（開）**にします。
クイックドレインつまみがしまっているか確認してください。



J-2889A

3. チョークレバーを**［始動］**位置に切り換えます。

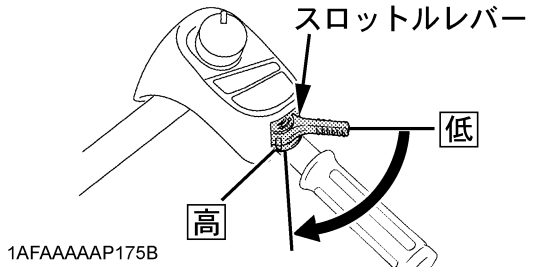


J-2889B

**補　足**

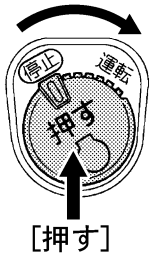
＊ エンジンがよく暖まっているときは，チョークの操作は不要です。

4. スロットルレバーを**［高］**と**［低］**の中間の位置にします。



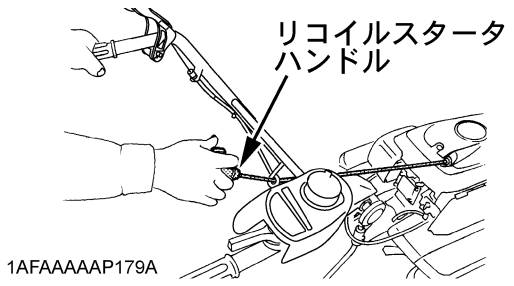
1AFAAAAAP175B

5. エンジンスイッチを押しながら**［運転］**位置まで回します。

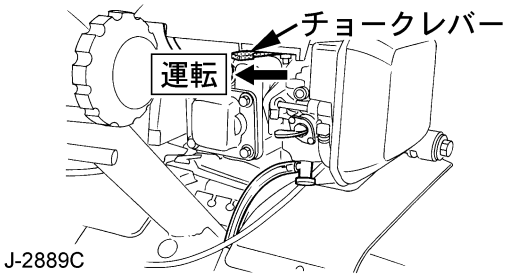


1AFAAAAAP185A　［押す］

6. リコイルスタータハンドルを握って，引っ張ります。
   エンジンが始動したら，リコイルスタータハンドルを静かに元に戻してください。




7. エンジンの調子を見ながら，チョークレバーを徐々に**［運転］**の位置に戻します。




8. スロットルレバーを**［低］**に戻し，２～３分暖機運転を行なってから，作業を始めてください。

**重　要**

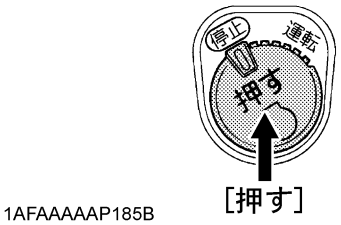
＊ 運転中はリコイルスタータを引かないでください。
＊ リコイルスタータハンドルをエンジン側に取付けると，ロープが巻き取れず，破損の原因となります。手元のみで使用してください。
＊ ロープの引き代は約 120cm となりますので，それ以上は引張らないでください。

## ■ 停止のしかた

**警　告**

**＊ 停止直後はしばらくマフラが熱くなっています。手を触れないでください。ヤケドのおそれがあります。**

1. 主クラッチレバーから手を離します。
2. スロットルレバーを**［低］**にします。
3. エンジンスイッチを押すと左に回り**［停止］**位置に戻り，エンジンが停止します。




4. 燃料コックを**［OFF］（閉）**にします。

**重　要**

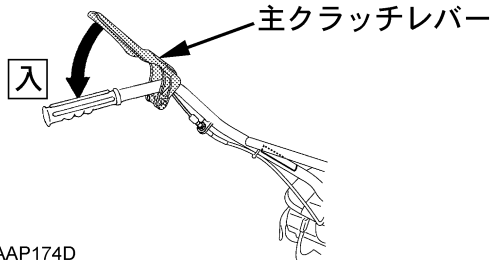
＊ コックを開いた状態で保管したり，前に倒したり，また車両で運搬すると，エンジン始動が困難となることがあります。

## 発進のしかた

**警　告**

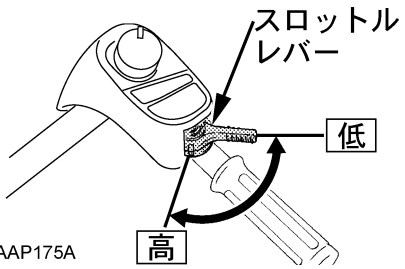
**＊ 運転中は周囲に人を近づけないでください。傷害事故のおそれがあります。**
**＊ 危険を感じたら，早めに手を離してください。**
**＊ 主クラッチレバーの操作は，ゆっくり行なってください。急激な操作を行うと機体が飛び出し危険です。**
**＊ 移動輪を取付けて移動するときは，必ずスロットルレバーを［低］の位置にし，エンジン回転を下げください。**
**＊ スロットルレバーが［高］の位置で主クラッチレバーを押さえると，機体が飛び出し危険です。**
**＊ 機体を持上げるときは，必ずエンジンを止めてください。ロータが回転して危険です。**

1. 主クラッチレバーを左手で下に押さえると発進します。



1AFAAAAAP174D

2. スロットルレバーを操作して速度を調節します。



1AFAAAAP175A

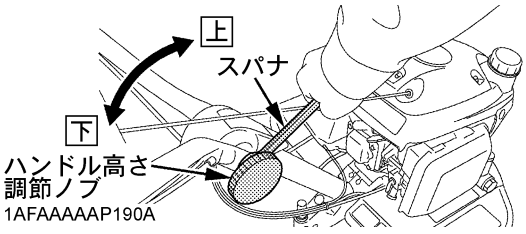
## 各部の調節

### ■ ハンドル高さの調節

**注　意**

**＊ 平坦な場所に機械を安定させて，エンジンを必ず停止して行なってください。傷害事故のおそれがあります。**

ハンドル高さ調節ノブを４～５回転ゆるめて，高さを調節してください。ノブが固くて回せない場合は，スパナでゆるめてください。
ハンドルがガタつく場合は，スパナで締付けてください。



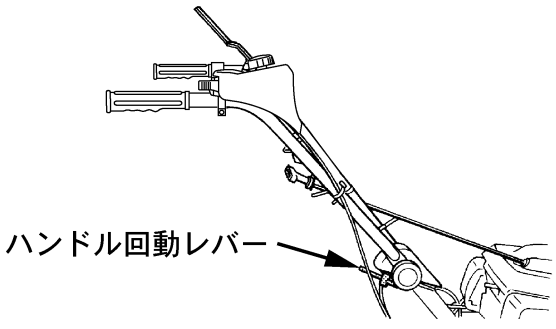
1AFAAAAAP190A

### ■ ハンドルの左右回動

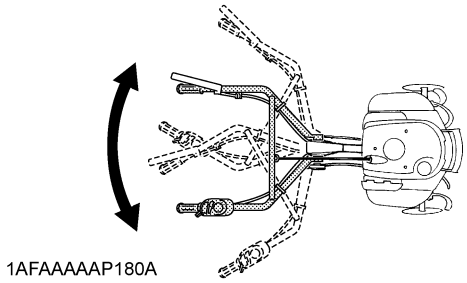
**注　意**

**＊ 平坦な場所に機械を安定させて，エンジンを必ず停止して行なってください。傷害事故のおそれがあります。**

ハンドル回動レバーを４～５回まわしてゆるめると，左右にそれぞれ１段階（左右各 22.5°）ハンドルを回動できます。



1AFAAAAAP183C

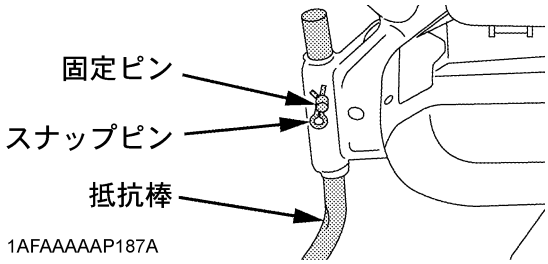

1AFAAAAAP180A

### ■ 抵抗棒の調節［T 仕様］

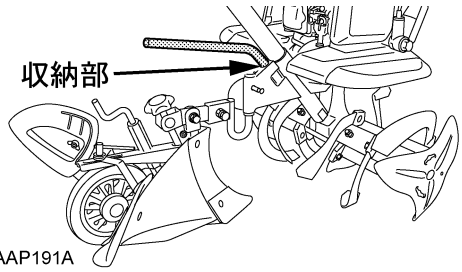
ヒッチ部に抵抗棒を入れ，使用したい高さに調節します。

(1) 抵抗棒は２段に調節できます。

(2) 調節後，固定ピンを差し込み，スナップピンで固定します。
抵抗棒を外した場合，抵抗棒を収納部に入れます。



1AFAAAAAP187A



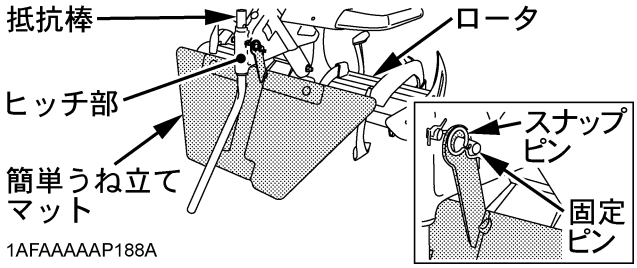
1AFAAAAAP191A

### ■ 簡単うね立てマットの取付けかた［U仕様］

**注　意**

**＊ 簡単うね立マットの取付け時は，エンジンを停止してください。傷害事故のおそれがあります。**

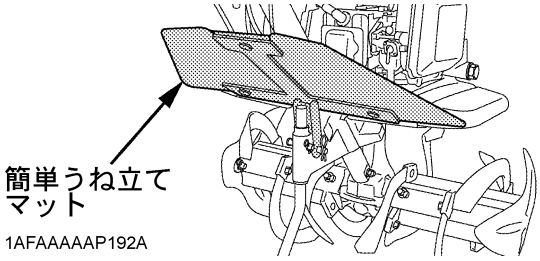
1. ロータと抵抗棒で，機体を接地させます。
2. 抵抗棒は上から２段目の位置にしてください。
3. ヒッチ部に簡単うね立てマットを取付けて，固定ピンを差し込み，スナップピンで固定します。



1AFAAAAAP188A

**補　足**

＊ 移動・耕うん作業時は，ヒッチ部に簡単うね立てマットを逆向きに取付けておくこともできます。



1AFAAAAAP192A

## 緩衝装置が働いた場合

**警　告**

**＊ 車軸回りの障害物を取り除くときは必ずエンジンを停止してください。**

車軸が障害物により回転できない場合や，大きな力が加わった場合に機体保護のため，内部で緩衝装置が働き，車軸の回転が止まりますが，故障ではありません。

次の要領に従って行えば正常に戻ります。

1. すぐに主クラッチレバーから手を離します。
2. スロットルレバーを**［低］**にします。
3. エンジンを止めます。
4. 車軸回りの障害物を取り除きます。
5. エンジンを始動させたのち，スロットルレバーを**［低］**に戻します。
6. 主クラッチレバーをゆっくり押さえてください。
7. 車軸が回転すれば正常です。

**重　要**

＊ 車軸に障害物を引掛けないように使用してください。

＊ 機体の内部で緩衝装置が働いた場合，すぐに本機を止めてください。

## 移動輪での運転のしかた

**警　告**

**＊ エンジンが高速回転時，主クラッチレバーを押さえると機体が飛び出し危険です。**

移動輪を取り付けて移動するときは，必ずスロットルレバーを**［低］**の位置にし，エンジン回転を下げてください。

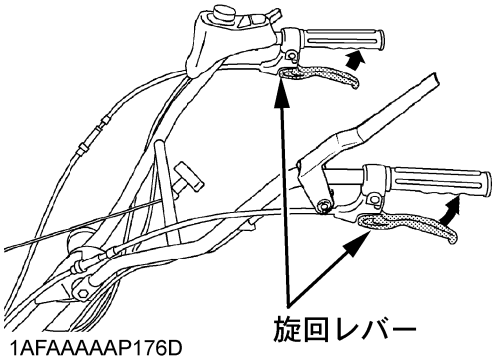
## 旋回レバー［S 仕様］

**重　要**

＊ 旋回レバーは左右同時には握ることはできません。
● 左側レバーを握ると左側車軸が停止し，左側に旋回します。
● 右側レバーを握ると右側車軸が停止し，右側に旋回します。

### ■ 旋回のしかた

左側レバーを握ると左側車軸が停止しますので，ハンドルを持ち上げ抵抗棒等を地面から離すようにして左旋回してください。
（右旋回はその逆になります。）



1AFAAAAAP176D

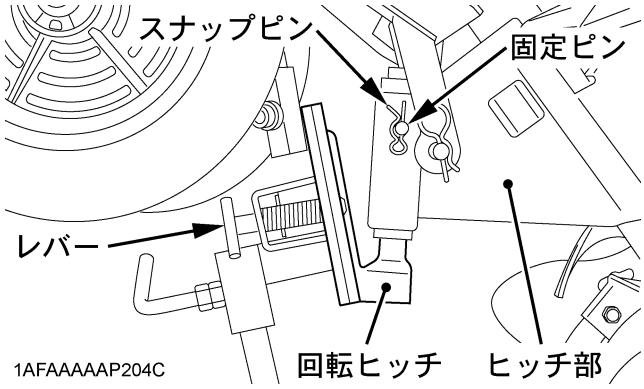
**補　足**

＊ 作業中はできるだけ旋回レバーを握らないようにしてください。ハンドル操作での作業をしてください。
＊ 作業中，左側旋回レバーは主クラッチを**［入］**の状態にして握ってください。（主クラッチを離すと機体が停止します。）
＊ ロータ等の装着時
旋回レバーを握ったとき，ロータ等の同時打ち込みが変わりますので，ハンドル等が左右にふれることがあります。そのときは同時打ち込みになるように旋回レバーを握って合わせてください。

## 回転ヒッチの使いかた［E2 仕様］

### ■ 装着のしかた

ヒッチ部に装着し，使用したい高さに調節します。
(1) 高さは２段に調節できます。
(2) 調節後，固定ピンを差し込み，スナップピンで固定します。



1AFAAAAAP204C

### ■ 切替のしかた

作業に応じて，下記要領で抵抗棒とタイヤを切替えてください。

#### ◆ 耕うん時

レバーを引き，抵抗棒が地面につくようにセットしてください。

#### ◆ 簡単うね立てマット装着時

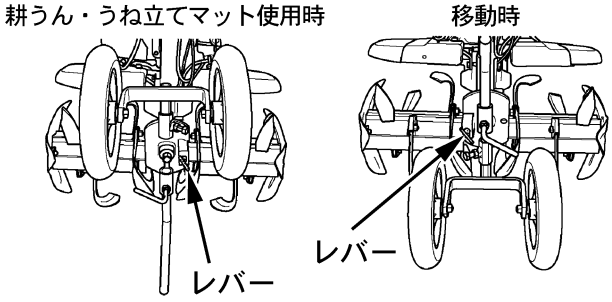
レバーを引き，抵抗棒が地面につくようにセットしてください。（回転ヒッチ取付部は，上から２段目の位置にセットしてください。）

#### ◆ 移動時

レバーを引き，タイヤが地面につくようにセットします。

**補　足**

＊ 簡単うね立てマットは逆向きに機体に取付けておく事もできます。（**［簡単うね立てマットの取付けかた］**9 ページを参照）



1AFAAAAAP224A

## ロータ・移動輪の取付けかた

**注　意**

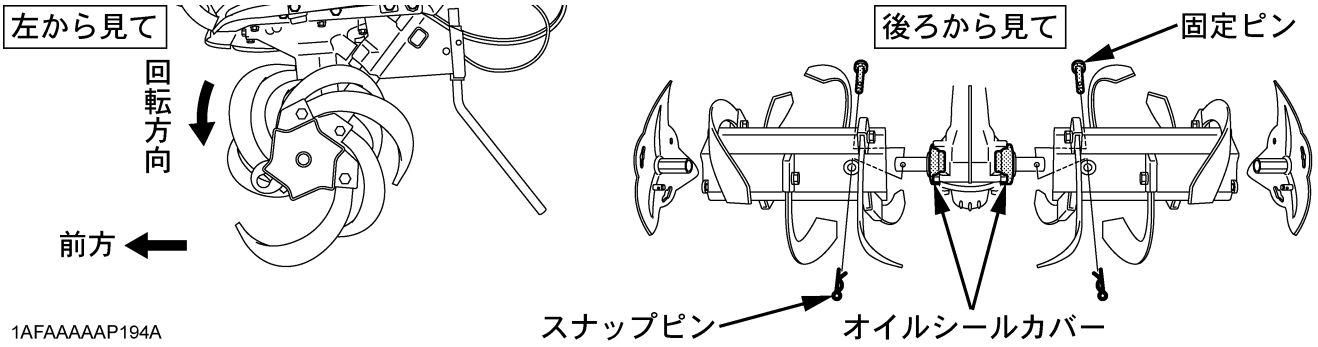
**＊ 作業機の交換・調整をするときは，本機を平たんな広い場所に置き必ずエンジンを停止して作業してください。**

**重　要**

＊ ロータを交換するときは，必ず燃料コックを**[OFF]（閉）**にしてください。

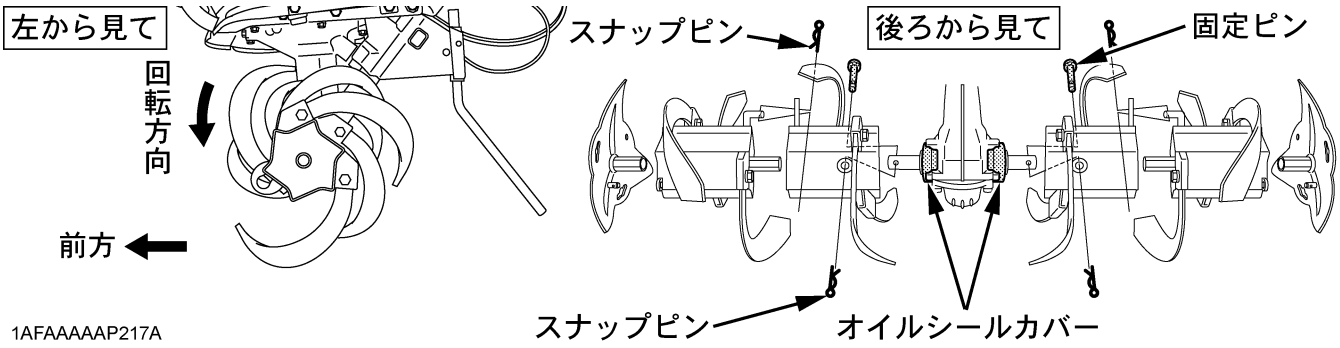
### ■ 楽ラク耕うんロータの取付けかた［M3，M4 仕様］

**◆ 一体型楽ラク耕うんロータ［M3仕様］は下図のように固定ピンを差込み，スナップピンで固定します。**




1AFAAAAAP194A

**◆ 分割型楽ラク耕うんロータ［M4仕様］は下図のように固定ピンを差込み，スナップピンで固定します。**



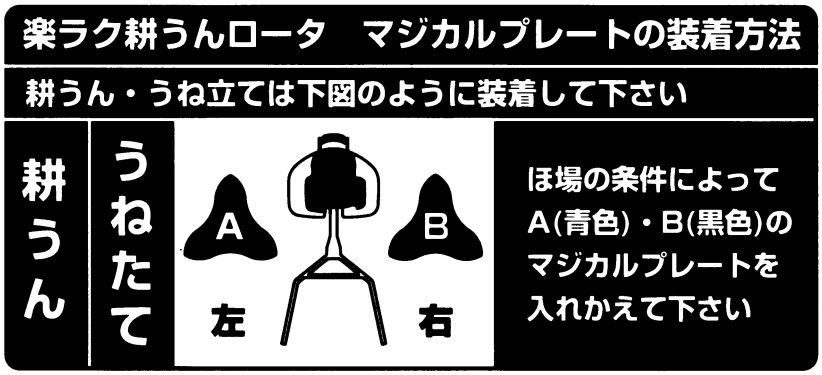

1AFAAAAAP217A

**重　要**

＊ 車軸にロータを取付ける時は，左右同時打ち込みになるように**左** **右**ラベルを合わせて取付けてください。

### ■ マジカルプレートの装着方法

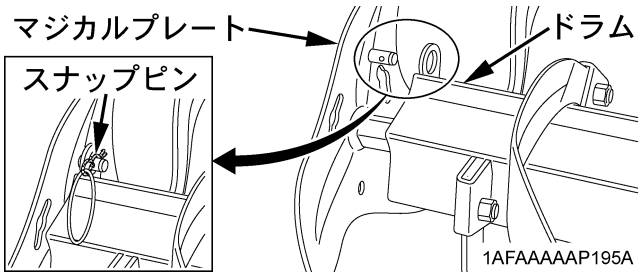
マジカルプレートは，プレートの回転方向により土にくい込む方向と，浮く方向があります。通常の状態（[A] 左，[B] 右）で使用すると爪は土の中に深く入っていきます。ロータがもぐり込み，前に進みにくいほ場では左右のプレートを逆に取り付ける（[B] 左，[A] 右）とロータが浮きスムーズな耕うんが可能になります。
通常の作業は，下図のようにマジカルプレートをセットしてください。
ほ場の条件によってマジカルプレートを入れ替えてください。



1AFAAAAAP235A

**補　足**

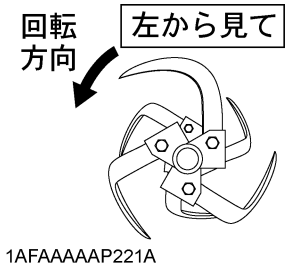
＊ マジカルプレートは下図のようにロータのドラムに差込みスナップピンで固定します。



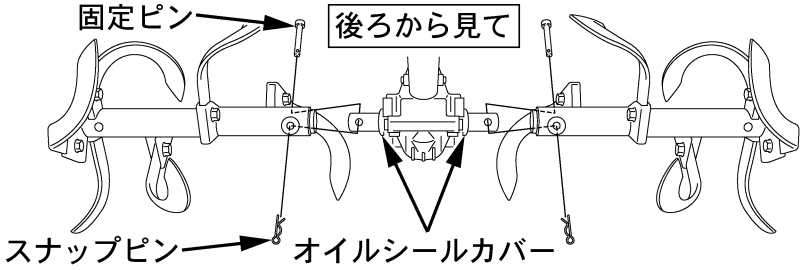
1AFAAAAAP195A

### ■ ミラクルロータの取付けかた［N 仕様］

**◆ ミラクルロータ［N 仕様］は下図のように固定ピンを差込み，スナップピンで固定します。**



1AFAAAAAP221A




**重　要**

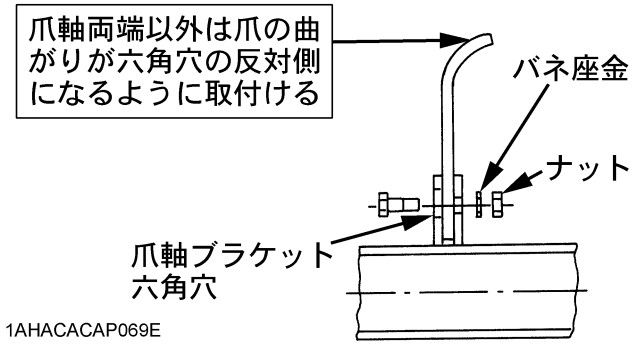
＊ 車軸にロータを取付ける時は，左右同時打ち込みになるように**左** **右**ラベルを合わせて取付けてください。

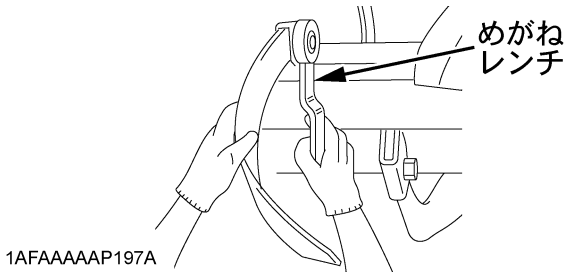
## ■ 耕うん爪の取付けかた

**注　意**

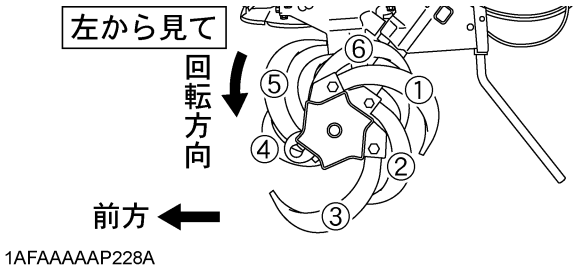
**＊ ボルト・ナットを締付ける場合は，めがねレンチが確実に入ったか確認してください。**

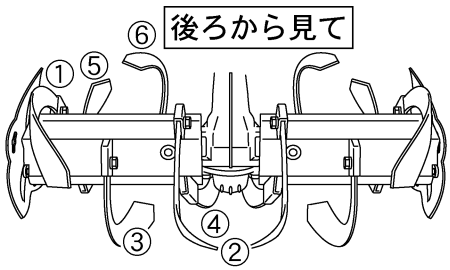
1. 爪の曲がりが六角穴の反対側になるように取付けてください。
2. ボルトは六角穴側よりボルトを入れ，反対側よりバネ座金を入れ，ナットで締付けてください。



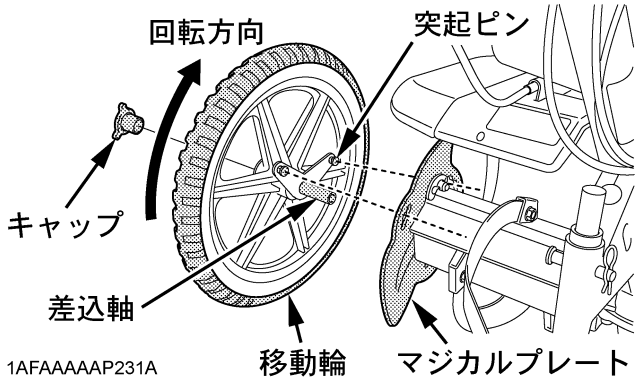

［締付けトルク 23.5 ～ 27.4N・m（2.4 ～ 2.8kgf・m）］



## ■ 移動輪の取付けかた［Y3 仕様］

**◆ 移動輪をマジカルプレートに取付けるときは，下図のように移動輪の差込軸及び２箇所の突起ピンをマジカルプレートの穴に確実に差込み，前後いずれかの方向に回転させてください。（固定ピン及びスナップピンは不要です）**



1AFAAAAAP231A

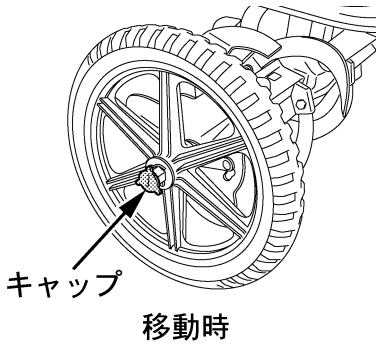
**◆ 移動輪用キャップの使い方**

**● 移動時**

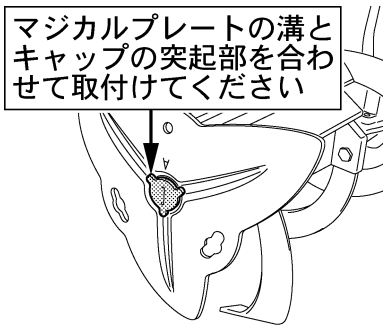
移動輪にキャップを取付けて移動します。移動時に外れないようキャップは奥まで差込んで下さい。

**● 耕うん・うね立て時**

マジカルプレートに取付けます。
キャップ頭部の突起部をマジカルプレートの溝に合わせて差込みます。
耕うん・うね立て時に外れないようキャップは奥まで差込んで下さい。



移動時
1AFAAAAAP232A



耕うん・うね立て時
1AFAAAAAP233A

# 管理機の簡単な手入れと処置

## 廃棄物の処理について

**警　告**

**廃棄物をみだりに捨てたり，焼却しないでください。環境汚染につながり，法令により処罰されることがあります。**
**廃棄物を処理するときは**
**＊ 機械から廃液を抜く場合は，容器に受けてください。**
**＊ 地面へのたれ流しや河川，湖沼，海洋への投棄はしないでください。**
**＊ 廃油，ゴム類，その他の有害物を廃棄，又は焼却するときは，購入先，又は産業廃棄物処理業者などに相談して，所定の規則に従って処理してください。**

## 日常の手入れ

**注　意**

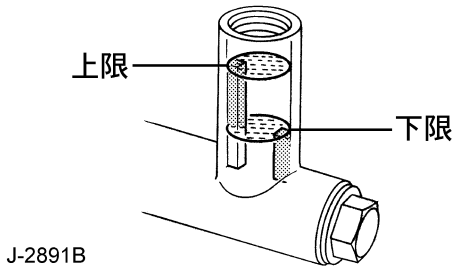
**＊ 給排油・点検・調節・清掃は，エンジンを停止し，エンジンやマフラがじゅうぶんに冷えてから行なってください。**
**＊ 平坦な場所に機械を安定させて行なってください。**

### ■ エンジンオイルの交換

#### ◆ 給油のしかた

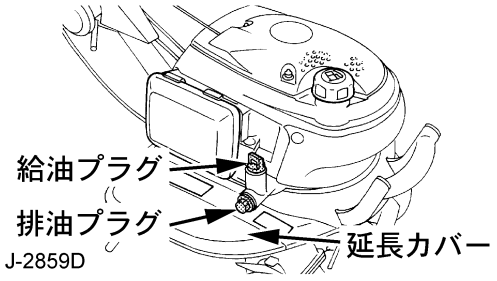
| 交　換 | | オイル量 | オイルの種類 |
|---|---|---|---|
| 第１回目 | 以 後 | | |
| 20 時間使用後 | 50 時間使用ごと | 0.3L | クボタ純オイル（ガソリンエンジン用）スーパー G 10W-30 |

エンジンを水平にし，エンジンオイルを給油口の内側レベルゲージで確認しながら，上限まで給油します。




#### ◆ 排油のしかた

機体を水平にして，延長カバー，給油プラグを外し，そのあと排油プラグを取外し，排出してください。この時，必ずオイルパン等で受けてください。




**重　要**

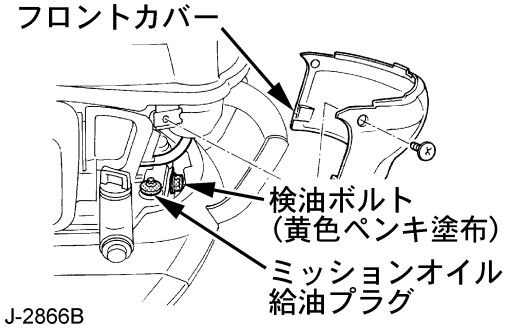
＊ 粗悪なオイルを使用しますと，エンジンの寿命を急激に縮めますので，購入先でクボタ純オイル スーパー G 10W-30 とご指定の上，お求めください。
＊ 排油・検油・給油後はプラグを確実に締めてください。

### ■ ミッションオイルの給油

#### ◆ 給油のしかた

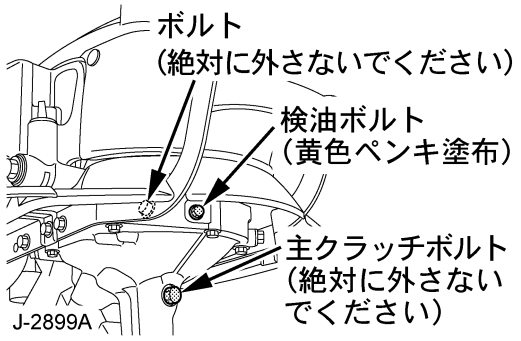
1. エンジンを水平にし，検油ボルトを外します。
2. フロントカバーを外します。
3. ミッションオイル給油プラグを外し，新しいオイルを検油口からあふれるまで給油します。

| 型式 | オイル量 | オイルの種類 |
|---|---|---|
| TMA350 | 0.85L | クボタ純オイル（ガソリンエンジン用）スーパー G 10W-30 |
| TMA350-S | 0.8L | |



**重　要**

＊ 主クラッチボルト及び下図のボルトは検油ボルトではありません。主クラッチ不良などのトラブルにつながる恐れがありますので絶対に外さないでください。

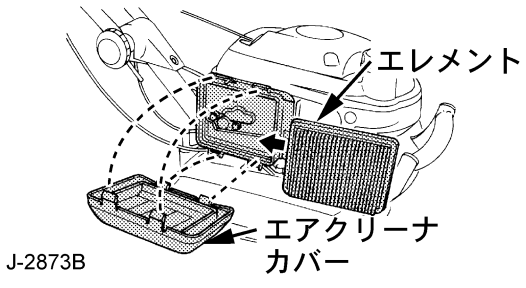


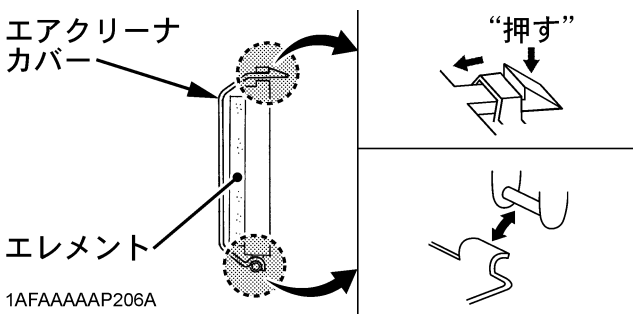

＊ 粗悪なオイルを使用しますと，機械の寿命を急激に縮めますので，購入先でクボタ純オイルスーパー G10W-30 とご指定の上，お求めください。
＊ 排油・検油・給油後はプラグを確実に締めてください。
＊ オイルを交換する場合は，ケース内のゴミも同時に排出させるために，オイルが暖まっている状態のとき排出してください。

## ■ エアクリーナエレメントの清掃

1. エアクリーナカバーを取外し，エレメントを取外します。エアクリーナカバーの取外しは，爪を押しながら上部を外した後，下部の合わせ部を離して行ないます。
2. エレメントは内側から空気を吹きつけるか，または軽く叩いて汚れを落とします。汚れがひどい場合は交換してください。

＊ 空気圧は2.1kgf/cm$^2$以下で行なってください。




3. エアクリーナカバーの取付けは，カバーを下部の合わせ部にひっかけた後，上部をはめ込み取付けてください。

**重　要**

＊ 汚れたまま使用しますと，エンジンの出力低下や故障の原因になります。

| | | | |
|---|---|---|---|
| エレメント | 清掃 | 通　常 | 50 時間ごと |
| | | ホコリの多い場合 | 毎　日 |
| | 交換 | 1 年間又は 200 時間ごと<br>汚れがひどいとき | |

＊ エレメントの着脱は風の少ないところで行ない，キャブレターの中にゴミが入り込まないよう注意してください。
＊ エレメントは，物に当てて破ったり変形しないように注意深く扱い，取付けは正しく行なってください。

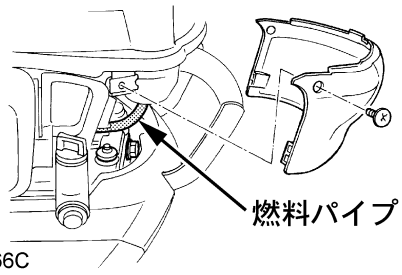
## ■ 燃料パイプの交換

交換にわたっては，購入先にご相談ください。

**警　告**

**＊ 燃料パイプは自然劣化したり傷があると，ガソリン漏れして火災の原因となります。ヒビや割れが発生したものは新しい燃料パイプと交換してください。**

| | |
|---|---|
| 交　換 | 2 年間ごと |



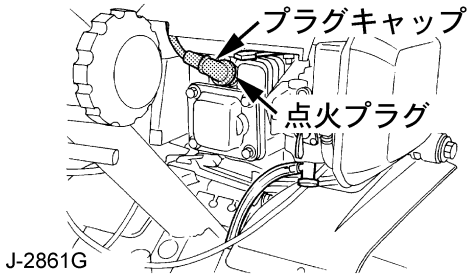
## ■ 点火プラグの調節・清掃・交換

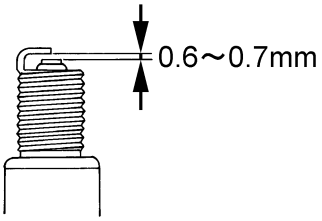
**注　意**

**＊ 高温部が冷えてから行なってください。**

1. エンジンを停止し，プラグキャップを外し，付属品のプラグ用ボックスレンチでプラグを外してカーボンを清掃します。
2. 電極のすきまが 0.6 ～ 0.7㎜ になるように調節してください。

| 調　　節 | 100 時間使用ごと |
|---|---|
| 点火プラグ | C4HSB（NGK），<br>U14FS-UB（DENSO） |




**重　要**

＊ 締付け時は，ネジ山をつぶさないよう，はじめに手で締込んでから，プラグボックスレンチで締付けてください。
＊ 調節・清掃してもエンジンが不調のときは，新しいプラグと交換してください。
＊ プラグを外したまま始動しないでください。

## ■ 主クラッチケーブルの調節

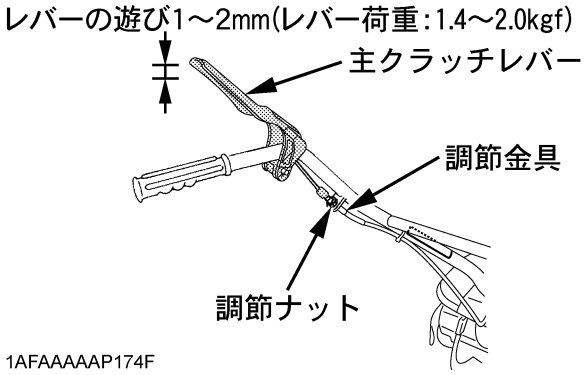
**注　意**

**＊ 主クラッチを調節するときは，必ずエンジンを停止して行なってください。**

**重　要**

＊ エンジン停止時，主クラッチレバーを握っても，握れないことがあります。本機を前後に移動させながらレバーを握ってください。

1. 主クラッチを切った状態でクラッチレバーの遊び（荷重）を調節します。
2. 調節はケーブルの調節ナット（２コ）で調節金具を前後して行ないます。
3. 調節後，調節ナットを確実に締付けてください。

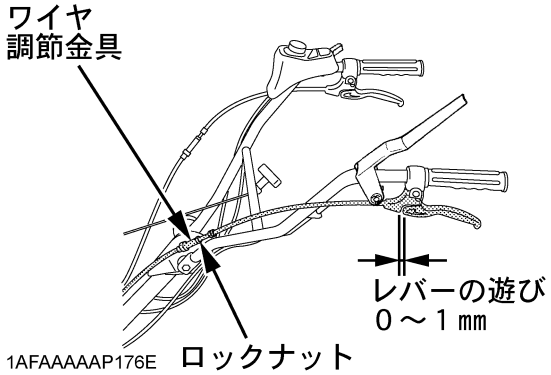



## ■ 旋回レバーケーブルの調節［S 仕様］

1. 旋回レバーを握っても旋回クラッチが切れにくい場合，また旋回レバーを放しても入りにくい場合は，調節金具のロックナットをゆるめて調節します。

| 切れにくい場合 | 調節金具を長くします。 |
|---|---|
| 戻りにくい場合 | 調節金具を短かくします。 |

2. 調節後はロックナットを確実に締付けてください。



## 使用後の手入れ

使用後は，必ずその日に清掃を行ない，各部に付いている土やゴミを落とし，各しゅう動部はさびないように油やグリス及び防錆剤を適宜塗布してください。特にファンカバー内にゴミが詰まりますと，エンジンの焼付きなどの原因になりますので，よく点検・清掃を行なってください。

**重　要**

＊ 水洗いのとき，エアクリーナ吸込口から水が入らないようにカバーをしてください。

### ■ エンジン始動不良を防ぐために

エンジン停止後，必ず燃料コックを閉めてください。

**重　要**

＊ 燃料コックを開いたままの状態で，保管したり，前に倒したり，また車両で運搬したりすると，エンジン始動が困難となる場合があります。また，クランクケース内へガソリンが流入することもあります。

### ■ 長期格納時の手入れ

**注　意**

**＊ カバーをかけたり，納屋に格納するときは，火災のおそれがあるため，エンジンが冷えてからにしてください。**
**＊ 燃料がこぼれたときは，きれいにふき取ってください。爆発・火災のおそれがあります。**

1. 主クラッチレバーは**［切］**の位置にして保管します。
2. 燃料タンク・キャブレターの中のガソリンは全て抜取ります。（1ヵ月以上使用しないとき）
3. オイルを交換し，各部をきれいに掃除します。
4. エアクリーナエレメントを，掃除しておきます。
5. エンジンのシリンダ内に湿気が入って，始動が困難になるのを防止するためリコイルスタータを引張って，圧縮位置で止めておきます。
6. カバーをかけて湿気や太陽光線・草・ワラ及びホコリの少ない場所に保管してください。
7. さびを防ぐため，爪軸を外し，耕うん軸と爪軸の内側を清掃し，油又はグリスを塗布してください。

**重　要**

＊ ほ場（田，畑）に保管していると，地面からの湿気により，車体等の錆びる原因となります。

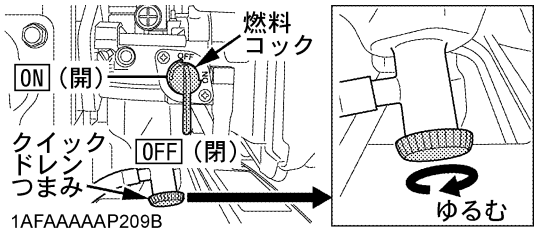
### ■ 燃料の抜取り

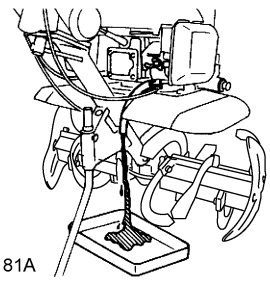
**注　意**

**＊ 燃料がこぼれたときは，きれいにふき取ってください。**

1ヵ月以上使用しないとき，燃料は全部抜取ってください。

1. 燃料タンク内のガソリンをポンプなどを使用して抜取ります。
2. 燃料コックを**［ON］（開）**にし，キャブレターのクイックドレンつまみをゆるめて，燃料を全部抜取ります。
3. 燃料を抜き終えたら，クイックドレンつまみを閉め，燃料コックを**［OFF］（閉）**にします。




**重　要**

＊ 燃料をそのままにしておくと，燃料タンクやキャブレター内のガソリンが劣化して，次の始動が困難になります。

## 洗車時の注意

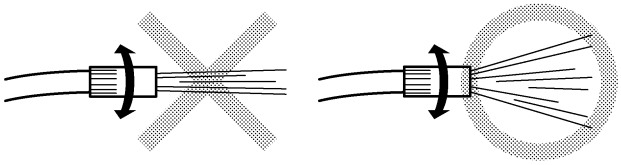
高圧洗車機の使用方法を誤ると人を怪我させたり，機械を破損・損傷・故障させることがありますので，高圧洗車機の取扱説明書・ラベルに従って，正しく使用してください。

**注　意**

**機械を損傷させないように洗浄ノズルを拡散にし，2m 以上離して洗車してください。**
**もし，直射にしたり，不適切に近距離から洗車すると，**

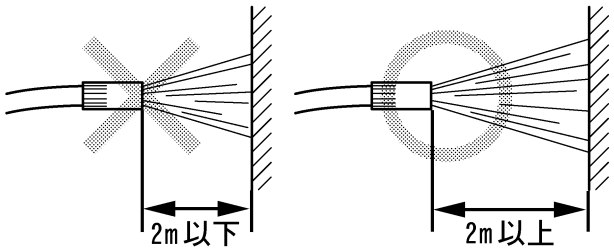
1. **電気配線部被覆の損傷・断線により，火災を引き起こすおそれがあります。**
2. **機械の破損・損傷・故障の原因になります。**
   **例）(1) シール・ラベルの剥がれ**
   **(2) 電子部品，エンジン・トランスミッション室内などへの浸入による故障**
   **(3) タイヤ，オイルシール等のゴム類，樹脂類などの破損**
   **(4) 塗装，メッキ面の皮膜剥がれ**

**直射洗車厳禁**




1AGACBRAP067A

**近距離洗車厳禁**




1AGACBRAP068A

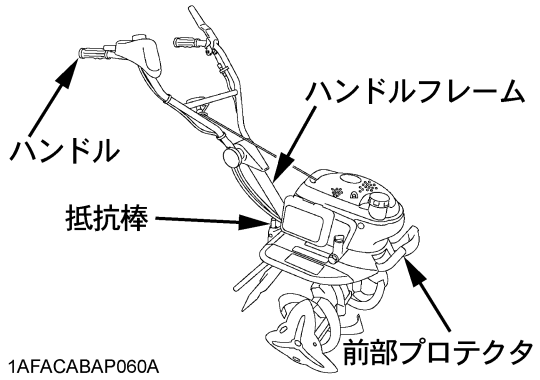
# 管理機を運搬するとき

## トラックへの積込み，運搬

**注　意**

**＊ 積込み・積降ろしは，平坦で交通の邪魔にならない安全な場所で行なってください。**
**＊ アユミ板はすべり止めの付いた，機体重量に耐えるもので，トラックの荷台の高さ［1］に対しアユミ板の長さ［4以上］のものを使用し，確実に固定してください。**
**＊ 車軸にロータ爪や鉄車輪を装着しての積込み，積降ろしは危険です。絶対にしないでください。**
**＊ 足元に注意し，上り，下りはエンジンを停止して，主クラッチレバー及び旋回レバー［S仕様］から手を離して行なってください。**
**＊ トラックは，荷台に天井がない車を使用してください。首や体をはさまれるおそれがあります。**
**＊ トラックでの運搬時は，タンク内のガソリンの量を，積込み・積降ろしに必要な最低量とし，残りのガソリンは，別に用意しておいた法で定められたタンクに移して運搬してください。火災のおそれがあります。**

1. トラックを平坦な場所に止め，駐車ブレーキを掛けます。
2. あゆみ板を荷台に確実に固定します。
3. ロータを装着しているときは，移動輪，または突起の小さい車輪と交換して行なってください。
4. 上り，下りはエンジンを停止して，主クラッチレバー及び旋回レバー**［S仕様］**から手を離して行なってください。
5. 機体は荷台にロープで確実に固定します。
6. 機体にロープを掛けるときは，前部プロテクタ・抵抗棒の２箇所を固定してください。




7. 燃料コックレバーは**［閉］**にします。
8. 雨天時には，エアクリーナの吸込口にカバーをかぶせてください。

**重　要**

＊ ロープを掛けるとき，樹脂レバーや樹脂カバー，小物部品にロープが触れないように気をつけてください。
破損したり機能が損なわれるおそれがあります。
＊ エアクリーナの吸込口にカバーをかぶせないで運搬すると，雨水や砂ホコリが入り，エアクリーナ性能が低下します。
＊ 燃料コックレバーを**［ON］（開）**にしたまま運搬すると，キャブレター内でガソリンがオーバーフローし，エンジン始動が困難となります。また，クランクケース内にガソリンが流入することもあります。
＊ ハンドルへのロープ掛けはしないでください。ハンドルが変形するおそれがあります。

## 乗用車への積込み，運搬

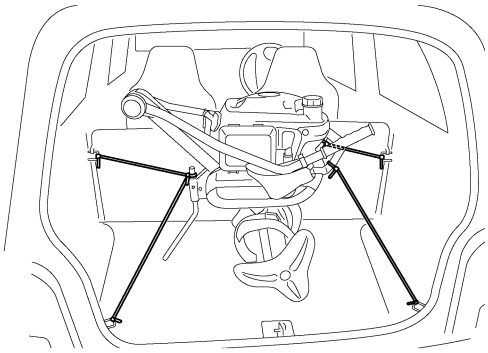
**注　意**

**＊ 積込み・積降ろしは，平坦で交通の邪魔にならない安全な場所で行ってください。**
**＊ 自動車は駐車ブレーキをかけ，エンジンを停止し，変速を後進（バック）：MT 車，P（パーキング）：AT 車に入れ，タイヤに歯止をしてください。**
**＊ 積込み・積降ろしは２人以上で行ってください。**
**＊ 乗用車等の密閉空間になる状態で機械を運搬する場合は，燃料タンク内の燃料を完全に抜き取ってから積込んでください。**
**＊ 燃料は，別に用意しておいた法で定められたタンクに移して運搬してください。火災のおそれがあります。**

**重　要**

＊ ロープを掛けるとき，樹脂レバーや樹脂カバー，小物部品にロープが触れないように気をつけてください。
破損したり機能が損なわれるおそれがあります。
＊ エアクリーナの吸込口にカバーをかぶせないで運搬すると，雨水や砂ホコリが入り，エアクリーナ性能が低下します。
＊ 燃料コックレバーを**［開］**いたまま運搬すると，キャブレター内でガソリンがオーバーフローし，エンジン始動が困難となります。また，クランクケース内にガソリンが流入することもあります。

1. エンジンを停止します。
2. 燃料タンク内の燃料を完全に抜き取ります。（「燃料の抜取り」18 ページ参照）
3. 燃料コックを**［OFF］（閉）**にします。
4. ハンドルを折り畳みます。（**「ハンドルの折り畳み方」**21 ページの項参照）
5. 前部のプロテクタと後部のハンドルフレームを持ち，自動車に積込みます。
6. 機械は自動車の床に安定した状態で積み，ロープで前部プロテクタ・抵抗棒を固定します。



1AFAAAAAP1990

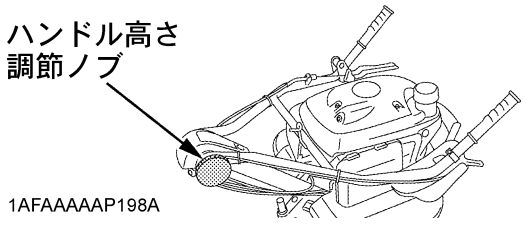
## ハンドルの折り畳みかた

**重　要**

＊ ハンドルを折り畳む時は，ケーブル等が他の部品に引っかからないか注意しながら，ゆっくりと操作してください。破損したり機能が損なわれるおそれがあります。
＊ ハンドルを折り畳む時は，フェンダに部品が干渉しない位置で止めてください。破損したり機能が損なわれるおそれがあります。

乗用車等への積み込み時，本機を格納する時等に，ハンドルを折り畳むことができます。

1. ハンドル高さ調整ノブをゆるめて折り畳みます。
2. ハンドル高さ調整ノブは，確実に締付けます。




1AFAAAAAP198A

# 付表

## 主要諸元

| | | |
|---|---|---|
| 販売型式名 | | クボタ　TMA350 |
| 機体寸法 | 全長（mm） | 1150 |
| | 全幅（mm） | 600（ロータ外幅） |
| | 全高（mm） | 1090 |
| 質量(kg) | | 33.5（M3TU 仕様） |
| | | 34.5（SM3TU 仕様） |
| エンジン | 型式名 | GXV57 |
| | 種類 | 空冷４サイクル立軸型 OHV ガソリンエンジン |
| | 総排気量 L（cc） | 0.057（57） |
| | 連続定格出力 kW/rpm（PS/rpm） | 1.0/4000（1.4/4000） |
| | 最大出力 kW/rpm（PS/rpm） | 1.8/4000（2.4/4000） |
| | 使用燃料 | 自動車用レギュラーガソリン（無鉛） |
| | 燃料タンク容量（L） | 0.7 |
| | 点火方式 | トランジスタマグネト |
| | 始動方式 | リコイルスタータ |
| 動力伝達方式 | | 直結遊星ギヤー式 |
| 主クラッチ方式 | | ボール式 |
| 手元クラッチ操作方式 | | 握り式 |
| 旋回レバー方式[S 仕様] | | ボール式 |
| 変速段数 | | 前進　１段 |
| 車軸回転速度（rpm） | | 117 |
| ハンドル上下調節 | | 菊座式 |
| ハンドル左右回動 | | 左右各１段 |
| 標準ロータ耕うん幅（mm） | | 600 |

## 標準付属部品

| 品名 | 数量/台 | 備考 |
|---|---|---|
| レンチ（プラグボックス） | 1 | |
| 車軸ピン | 2 | |
| スナップピン | 2 | |
| 取扱説明書 | 1 | |
| ガソリンメンテナンス要領書 | 1 | |
| 組立要領書 | 1 | |
| 保証書 | 1 | |

## 主な消耗部品一覧表

### ● 本機関係

| 品　　名 | 品　　番 | 適用機種 | 数量 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| ケーブル（シュクラッチ） | KA011-4201-0 | 全機種 | 1 | |
| ケーブル（スロットル） | KA011-4312-0 | 全機種 | 1 | |
| コード（ストップスイッチ） | KA011-5512-0 | 全機種 | 1 | |
| ケーブル（センカイクラッチ） | KA012-4332-0 | S 仕様 | 2 | |
| クランプ（143L） | RC411-5304-0 | 全機種 | 4 | |
| オイルシール | 61141-1714-0 | 全機種 | 2 | |
| カバー（オイルシール） | LK011-1281-0 | 全機種 | 2 | |
| ツメ，アッシ（ラクラクロータ NS29） | 91154-0313-0 | M3，M4 仕様 | 1 | |
| ラクラクロータツメ（NS29 ヒダリ） | 91154-0314-0 | M3，M4 仕様 | 6 | |
| ラクラクロータツメ（NS29 ミギ） | 91154-0315-0 | M3，M4 仕様 | 6 | |
| ツメ，アッシ（A720 ミラクルロータ） | 91154-0610-0 | N 仕様 | 1 | |
| ミラクルヅメ（S30 ヘンシンヅメ R） | 91154-0613-0 | N 仕様 | 5 | |
| ミラクルヅメ（S30 ヘンシンヅメ L） | 91154-0614-0 | N 仕様 | 5 | |
| ミラクルヅメ（S30 チョクヅメ） | 91154-0615-0 | N 仕様 | 2 | |
| シャジクピン | 61141-1713-0 | ATT 用 | 4 | 爪軸取付 |
| ピン（スターロータ 8 × 88） | 91154-0215-0 | M3，M4 仕様 | 2 | 爪軸取付 |
| ピン | 91154-0617-0 | N 仕様 | 2 | 爪軸取付 |
| スナップピン | 05515-50800 | M3，M4 仕様 | 2 | 爪軸取付 |
| スナップピン（マル 9 ケーブルツキ） | 91154-0319-0 | M3，M4 仕様 | M3 は 2，M4 は 4 | ﾌﾟﾚｰﾄ,ﾄﾞﾗﾑ(子)取付 |
| R ピン | 91154-0618-0 | N 仕様 | 2 | 爪軸取付 |
| ボルト（M8 × 18 B13） | 91232-0121-0 | M3，M4 仕様 | 12 | 爪取付 |
| ボルト | 91154-0616-0 | N 仕様 | 12 | 爪取付 |
| バネザガネ | 04512-50080 | M3，M4，N 仕様 | 12 | 爪取付 |
| ナット（P1.25 B14） | 91154-0318-0 | M3，M4，N 仕様 | 12 | 爪取付 |

### ● エンジン関係

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| スパークプラグ | E1199-0127-0 | 全機種 | 1 | |
| エレメント（エアクリーナ） | E1199-1112-0 | 全機種 | 1 | |
| チューブ（A，フューエル） | E1199-4432-0 | 全機種 | 1 | |
| ロープ | E1199-6116-0 | 全機種 | 1 | |

# トラブルと処置

### ■エンジンが始動しないとき

| 原　因 | 処　置 |
|---|---|
| ● 始動の手順が間違っている | 正しい順序で始動する。(**[エンジンの始動と停止のしかた]** の項 6 ページ参照) |
| ● タンクにガソリンを入れたまま 1 ヵ月以上保管しガソリンが劣化した。 | タンク・キャブレター内の劣化したガソリンを排出し，新しいガソリンを入れる。 |
| ● チョークを **[始動]** 位置でリコイルを何回も引過ぎガソリンを吸いすぎた。 | チョークを **[運転]** 位置に戻しリコイルを引くか，点火プラグを外して乾燥させる。 |
| ● エンジン停止後，燃料コックを閉じないで本機を前に倒したり，車両で運搬したためキャブレターがオーバフローした。 | クランクケース内にガソリンが混入していたら新しいエンジンオイルと交換する。 |
| ● エアクリーナエレメントが目詰まりしている。 | エレメントを外して清掃する。<br>または新しい物と交換する。 |
| ● 点火プラグの火花が弱い，飛ばない。 | 点火プラグを外して付着したカーボンを清掃する。または，新しい物と交換する。 |

### ■エンジンの回転が上がらない，不安定，出力が不足する

| 原　因 | 処　置 |
|---|---|
| ● エンジンが暖まってもチョークを **[始動]** 位置のまま運転している。 | チョークを **[運転]** 位置に戻す。 |
| ● エアクリーナエレメントが汚れている。 | エレメントを外して清掃する。 |
| ● スロットルケーブルの引張りが不足している。 | ケーブルのセット位置を調節する。 |

### ■異音がして，車軸が回転しない

| 原　因 | 処　置 |
|---|---|
| ● 主クラッチケーブルの調節不良。 | 正しく調節する。(**[主クラッチケーブルの調節]** の項 17 ページ参照) |
| ● 緩衝装置が働いている。 | **[緩衝装置が働いた場合]** の項 9 ページ参照。 |

### ■ハンドルのガタが多い

| 原　因 | 処　置 |
|---|---|
| ● ハンドル部のガタが多い。 | [ハンドル高さ調節ノブ]・[ハンドル回動レバー]を締直す。 |

上記の処置をしてもトラブルが直らないときは，購入先にご相談ください。

修理・取扱い・手入れなどでご不明の点は**まず，購入先へ** ご相談ください。

おぼえのため，記入されると便利です

| 購入先名　　担当　　電話　（　　）　　ー | | |
|---|---|---|
| ご購入日 | 型式 | 車台番号 |
| エンジン型式　　機番 | その他装着型式　　機番 | |

万一ご購入先でご不明の点がございましたら，下記にお問合わせください。

| 都道府県 | お問合せ先 | 都道府県 | お問合せ先 |
|---|---|---|---|
| 北海道 | 北海道営業技術推進部 | 滋賀、京都、大阪、和歌山、奈良、兵庫 | 大阪営業技術推進部 |
| 青森、秋田、山形(庄内地区) | 秋田営業技術推進部 | 岡山、広島 | 中国営業技術推進部 |
| 岩手、宮城、福島、山形(庄内地区以外) | 仙台営業技術推進部 | 島根、鳥取 | 中国営業技術推進部(米子事務所) |
| 栃木、群馬、茨城、千葉、埼玉、東京、神奈川、静岡 | 東京営業技術推進部 | 香川、徳島、高知、愛媛 | 株式会社四国クボタ 営業技術課 |
| 新潟、長野、山梨 | 新潟営業技術推進部 | 山口、福岡、佐賀、長崎、沖縄 | 福岡営業技術推進部 |
| 富山、石川、福井 | 金沢営業技術推進部 | 大分、宮崎、熊本、鹿児島 | 熊本営業技術推進部 |
| 愛知、三重、岐阜 | 名古屋営業技術推進部 | | |


**クボタ機械サービス株式会社**

北海道営業技術推進部：電(011)376-4434　〒061-1274　北海道北広島市大曲工業団地3丁目1番地
秋田営業技術推進部：電(018)845-1644　〒011-0901　秋田市寺内字大小路207-54
仙台営業技術推進部：電(022)384-5162　〒981-1221　宮城県名取市田高字原182番地の1
東京営業技術推進部：電(048)862-1588　〒338-0832　さいたま市桜区西堀5丁目2番36号
新潟営業技術推進部：電(025)285-1261　〒950-0992　新潟市中央区上所上1丁目14番15号
金沢営業技術推進部：電(076)275-1121　〒924-0038　石川県白山市下柏野町956-1
名古屋営業技術推進部：電(0586)24-5111　〒491-0031　愛知県一宮市観音町1番地の1
大阪営業技術推進部：電(06)6470-5860　〒661-8567　兵庫県尼崎市浜1丁目1番1号
中国営業技術推進部：電(086)279-4511　〒703-8216　岡山市東区宍甘275番地
中国営業技術推進部(米子事務所)：電(0859)39-3181　〒689-3547　鳥取県米子市流通町430-12
株式会社四国クボタ 営業技術課：電(087)874-8500　〒769-0102　香川県高松市国分寺町国分字向647-3
福岡営業技術推進部：電(092)606-3725　〒811-0213　福岡市東区和白丘1丁目7番3号
熊本営業技術推進部：電(096)357-6181　〒861-4147　熊本市富合町廻江846-1
本社営業技術部：電(072)241-7247　〒590-0823　大阪府堺市堺区石津北町64番地

**株式会社クボタ**

機械東日本事務所：電(048)862-1121　〒338-0832　さいたま市桜区西堀5丁目2番36号
機械西日本事務所：電(06)6470-5970　〒661-8567　兵庫県尼崎市浜1丁目1番1号



TMA350
AP．E．7-10．60．AK

Kubota

# 安全宣言

安全はクボタの願い

このマークは「お客様」「ディーラ」「クボタ」の三者が一体となって安全宣言を行うための統一マークです。

陸内協排出ガス自主規制適合

このラベルは「(社)日本陸用内燃機関協会排出ガス自主規制適合エンジン」であることを示しています。

株式会社クボタ
〒556-8601
大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号

品番　KA011-6511-2